

福商会報

FUKUSHO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所／一般社団法人 福商会 発行責任者／後藤 幹生 福岡市中央区大名1-12-57

TEL : 092(711)9890 FAX : 092(711)9266

Eメール:info@fukushokai.or.jp

<http://www.fukushokai.or.jp>

熱・意気・力

Vol.164

(2012年 9月発行)



写真提供:都地義彰さん(44回生)

福岡市 大濠公園



山口毅大会会長(52回生)挨拶



大会実行委員長の中山浩二さん

式典



60回生への感謝状



喜寿の芹野哲治さん



米寿の皆さん

懇親会の模様

来賓挨拶



懇親会会場



福岡高校校長
井上直輝氏



福岡市教育委員会
教育長 酒井龍彦氏

懇親会

第一部式典
当番幹事(87回生)の森田伊織さん、山田直子さんの両司会のもと、丸山貴司さんの開会宣言で式典が始まり、大会実行委員長の中山浩二さんの挨拶がありました。

次に大会会長である福商会山口毅理事長(52回生)から奨学金事業の成果で24年3月の福岡校卒業生が、国公立大学20人、西南学院大学76人、福岡大学140人の合格者が出た話や、110周年記念事業で多くの同窓生各位からの募金が集まっていることに対し、感謝の言葉がありました。

物故者慰霊のあと、福商会会務報告を後藤幹生専務理事(55回生)からありました。

本年度、米寿を迎えられる昭和16年卒業生を代表して池見規雄さん(39回生)、喜寿を迎えられる昭和29年卒業の52回生と別科4回生の卒業生を代表して芹野哲治さん(52回生)に記念品が贈呈され、池見、芹野

6月10日(日)福岡市中央区の「ホテルニューオータニ博多」で今年も900人を超える同窓生が一堂に集い、全国合同同窓大会が盛大に開催されました。

**第62回 福商会
全国合同
同窓大会開催**
900人を超える同窓生が集う



応援団OBからのエール



当番幹事引き継ぎ(87回生から88回生=右)



さくら会の皆さん



南ん子太鼓



博多祝い唄・手一本



剣道の菊池先生と城さん



当番幹事87回生の皆さん

第一部懇親会

両人から福商時代の思い出や記念品に対して感謝の言葉がありました。
卒業50周年を記念して、福商会奨学育英資金に100万円の寄付をされた60回生を代表して廣田昭俊さん(理事)に山口理事長から感謝状の贈呈があり、最後に長崎琢也さん(87回生)の閉会の辞があり、式典が終了しました。

中山浩二大会実行委員長より開会のことばがあり、大会会長の山口毅理事長から挨拶がありました。

次に来賓挨拶として、福岡市教育委員会教育長の酒井龍彦氏から母校の進学に対する積極的な取り組みに対する成果や、剣道女子の玉竜旗躍進の話がありました。

福翔高校井上直輝校長からは、奨学金支援、部活動強化の支援に、物心両面からの指導、助言に感謝する旨と、平成25年度からは「進学型総合学科高校」として「文武両道」を体現できる学校づくりを目指すという力強い言葉がありました。

乾杯のご発声は中島繁之さん(38回生)にさせていただきました、楽しい懇親会が始まりました。

余興として「南ん子太鼓」の力強い太鼓の響きに会場内の懇親の輪が広がっていききました。

今春卒業された110回生の紹介や、昨年玉竜旗で3位になった立役者の大将城千晶さん(110回生)から応援に対する感謝とお礼の言葉が述べられました。

さくら会からは10月に開催する大宰府支部訪問交流会のイベントの案内があり、次は当番幹事の引き継ぎ(87回生から88回生)があり、応援団OB高田芳昭さん(65回生)の指揮のもと、校歌斉唱、応援歌を参加者一同で歌いました。

博多祝い唄は古川研二さん(52回生)、鬼木智明さん(62回生)、谷口政幸さん(72回生)、博多手一本は「はっぴ」姿の伊藤忠さん(63回生)の後、岡崎大会実行副委員長の閉会のことばで懇親会が終了しました。

定時総会

5月20日(日)、福岡市中央区のセントラルフクオカで146名(議決権行使の議員含む)の代議員が出席し、定時総会が開催されました。

定款により、山口理事長が議長を務め、議案内容の説明は後藤専務理事から会務報告があり、審議に入りました。



会場



定時総会

【議案】

- 第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算報告
- 第2号議案 平成24年度事業計画書並びに予算案
- 第3号議案 理事選任、辞任承認の件
- 第4号議案 定款の一部変更について

議案審議のなかで、監査報告が山田康夫監査役(57回生)からありました。

1号議案では、今回が一般社団法人として最初の決算であることの報告があり、(建物修繕積立金300万円、前期当期収支差額のマイナス計上の理由、次期繰越収支差額の金額などの詳しい説明があり、採決に入り賛成多数で承認されました。

2号議案も賛成多数で承認され質問、要望事項として、貸館事業収入等の費目の細分化をしてほしい。雑支出の内容の見直し、預かり敷金の減少要因とテナント先の賃貸契約の期限などがありました。

3号議案は任期途中での理事交代、新任、辞任の各1人があり、満場一致で承認されました。

4号議案は定款の一部変更(常任理事の増員)は満場一致で承認されました。

【報告事項】

青木事務長より

- 一、平成23年度福商会年会費納入状況。10人以上の納入回生に対して納入会費の20%還元金額の説明。来期以降は年会費の還元対象人数を20人以上とする提案を説明。
- 二、110周年記念事業の募金で、回生別募金一覧表を説明、福商会報5月号に募金者名を掲載することを報告。

福商会報
Vol.164
CONTENTS

全国合同同窓大会	2・3	たまたま会	13
定時総会	4	投稿	14~17
23年度決算報告	5	年会費	18~21
学園だより	6~9	110周年募金	22~25
同舟往来	10	博多にわか	26
同窓会だより	11	元気企業	27
さくら会だより	12		

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社

代表取締役会長 渡邊 與三郎 (39回生)

福岡市中央区天神1丁目12の14号
電話 (092) 721-4531番



本造りのプロフェッショナル

正光印刷株式会社

営業所/福岡市中央区赤坂1丁目3番7号
PHONE: (092) 741-3266
携 帯: (090) 8761-1725
藤村 みつ (53回生)

躍進する 柏屋グループ { 総合建設業・木材業
不動産業・アバマン柏屋店
一級建築士事務所

柏屋殖産株式会社

会長 篠原隆義 (54回生)
本 社 糟屋郡粕屋町大字仲原2525
電話(代表)092-621-1331番

広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

23年度決算報告

■平成24年度収支予算(案)

(単位:円)

科目	23年度決算額	24年度予算額	差異
1. 事業活動収入			
①事業収入			
110周年寄付金収入	0	25,000,000	25,000,000
同窓会収入	14,307,397	14,000,000	△307,397
貸室事業収入	722,758	850,000	127,242
貸館事業収入	35,172,015	39,130,000	3,957,985
異学寄付収入	1,191,323	1,200,000	8,677
事業収入計	51,393,493	80,180,000	28,786,507
②雑収入			
受取利息収入	446,489	450,000	3,511
雑収入	403,381	10,000	△393,381
雑収入計	849,870	460,000	△389,870
事業活動収入計	52,243,363	80,640,000	28,396,637
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
110周年事業支出	0	25,000,000	25,000,000
給料手当支出	3,981,000	7,440,000	3,459,000
賞与支出	760,000	900,000	140,000
福利厚生費支出	1,065,577	1,600,000	534,423
旅費交通費支出	197,725	200,000	2,275
通信運搬費支出	443,926	450,000	6,074
建物減価償却費支出	3,246,113	3,200,000	△46,113
什器備品減価償却費支出	139,691	130,000	△9,691
事務用消耗品費支出	433,949	516,000	82,051
消耗品費支出	647,636	1,000,000	352,364
修繕費支出	269,000	500,000	231,000
維持管理費支出	520,000	624,000	104,000
渉外費支出	496,666	500,000	3,334
光熱水料費支出	628,666	750,000	121,334
賃借料支出	251,600	301,200	49,600
保険料支出	341,030	341,000	△30
業務報酬支出	2,279,527	0	△2,279,527
租税公課支出	301,640	300,000	△1,640
固定資産税支出	3,492,000	4,600,000	1,108,000
支払手数料支出	294,753	300,000	5,247
広告費支出	3,360,000	1,600,000	△1,760,000
慶弔見舞金支出	147,500	150,000	2,500
会議費支出	1,117,699	1,200,000	82,301
同窓会参加費支出	149,524	150,000	476
支部強化費支出	300,000	300,000	0
会報印刷費支出	3,850,250	4,000,000	149,750
会報発送費支出	2,037,671	2,100,000	62,329
会館管理費支出	1,160,279	1,200,000	39,721
入会式費用支出	466,229	460,000	△6,229
縦の糸会費支出	900,795	900,000	△795
スポーツ同好会費支出	287,717	270,000	△17,717
合同同窓大会費支出	10,276,939	10,000,000	△276,939
部活OB会費用支出	3,000,000	1,000,000	△2,000,000
奨学会支出	6,450,000	5,000,000	△1,450,000
奨励金支出	370,000	400,000	30,000
母校寄付金支出	100,000	100,000	0
雑支出	1,709,343	1,600,000	△109,343
運営雑費支出	195,923	200,000	4,077
事業費支出計	55,672,378	79,282,200	23,609,822
②管理費支出			
役員報酬支出	1,200,000	1,200,000	0
事業活動支出計	56,872,378	80,482,200	23,609,822
事業活動収支差額	△4,629,015	157,800	4,786,815
1. 投資活動収入			
①基本財産取崩収入			
②特定資産取崩収入	0	0	0
③固定資産売却収入	3,387,804	3,330,000	△57,804
投資活動収入計	3,387,804	3,330,000	△57,804
2. 投資活動支出			
①基本財産取得支出			
②固定資産取得支出	3,387,804	3,330,000	△57,804
③その他の支出	2,518	3,000	482
投資活動支出計	3,390,322	3,333,000	△57,322
投資活動収支差額	△2,518	△3,000	△482
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
0			
2. 財務活動支出			
①その他の支出			
0			
財務活動支出計			
0			
財務活動収支差額			
0			
予備費支出			
0			
0			
当期収支差額	△4,631,533	154,800	4,786,333
前期繰越収支差額	39,681,319	35,049,786	△4,631,533
次期繰越収支差額	35,049,786	35,204,586	154,800

■平成23年度収支計算書

(単位:円)

科目	決算額	予算額	差異
1. 事業活動収入			
①事業収入			
同窓会収入	14,307,397	15,085,000	777,603
貸室事業収入	722,758	624,300	△98,458
貸館事業収入	35,172,015	35,530,138	358,123
異学寄付収入	1,191,323	0	△1,191,323
事業収入計	51,393,493	51,239,438	△154,055
②雑収入			
受取利息収入	446,489	0	△446,489
雑収入	403,381	0	△403,381
雑収入計	849,870	0	△849,870
事業活動収入計	52,243,363	51,239,438	△1,003,925
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
給料手当支出	3,981,000	4,645,880	664,880
賞与支出	760,000	760,000	0
福利厚生費支出	1,065,577	1,543,833	478,256
旅費交通費支出	197,725	294,160	96,435
通信運搬費支出	443,926	387,509	△56,427
建物減価償却費支出	3,248,113	4,000,000	751,887
什器備品減価償却費支出	139,691	0	△139,691
事務用消耗品費支出	433,949	632,852	198,883
消耗品費支出	647,636	285,198	△362,438
修繕費支出	269,000	1,993,700	1,724,700
維持管理費支出	520,000	1,148,550	628,550
渉外費支出	496,666	840,000	△343,334
光熱水料費支出	628,666	688,539	59,873
賃借料支出	251,600	252,372	772
保険料支出	341,030	340,000	△1,030
業務報酬支出	2,279,527	3,405,000	1,125,473
租税公課支出	301,640	60,000	△241,640
固定資産税支出	3,492,000	3,332,800	△159,200
支払手数料支出	294,753	297,272	2,519
広告費支出	3,360,000	3,500,000	140,000
慶弔見舞金支出	147,500	100,000	△47,500
会議費支出	1,117,699	1,117,975	276
同窓会活動補助金	0	200,000	200,000
同窓会参加費支出	149,524	130,000	△19,524
支部強化費支出	300,000	300,000	0
会報印刷費支出	3,850,250	4,000,000	149,750
会報発送費支出	2,037,671	2,000,000	△37,671
会館管理費支出	1,160,279	1,105,616	△54,663
入会式費用支出	466,229	600,000	133,771
縦の糸会費支出	900,795	1,050,000	149,205
スポーツ同好会費支出	287,717	320,000	32,283
合同同窓大会費支出	10,276,939	10,000,000	△276,939
部活OB会費用支出	3,000,000	2,000,000	△1,000,000
奨学会支出	6,450,000	5,000,000	△1,450,000
奨励金支出	370,000	300,000	△70,000
母校寄付金支出	100,000	220,000	120,000
雑支出	1,709,343	619,883	△1,089,460
運営雑費支出	195,923	251,874	55,951
事業費支出計	55,672,378	56,969,833	1,297,455
②管理費支出			
役員報酬支出	1,200,000	1,200,000	0
事業活動支出計	56,872,378	58,169,833	1,297,455
事業活動収支差額	△4,629,015	△6,930,395	△2,301,380
1. 投資活動収入			
①基本財産取崩収入			
②特定資産取崩収入	0	0	0
③固定資産売却収入	3,387,804	0	△3,387,804
投資活動収入計	3,387,804	0	△3,387,804
2. 投資活動支出			
①基本財産取得支出			
②固定資産取得支出	3,387,804	0	△3,387,804
③その他の支出	2,518	0	△2,518
投資活動支出計	3,390,322	0	△3,390,322
投資活動収支差額	△2,518	0	2,518
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
0			
2. 財務活動支出			
①その他の支出			
0			
財務活動支出計			
0			
財務活動収支差額			
0			
予備費支出			
0			
0			
当期収支差額	△4,631,533	△6,930,395	△2,298,862
前期繰越収支差額	39,681,319	39,681,319	0
次期繰越収支差額	35,049,786	35,049,786	0

■貸借対照表(平成24年3月31日現在)

(単位:円)

科目	前年度	当年度	増減
1. 流動資産			
現金預金	55,808,558	68,035,241	12,226,683
立替金	25,400	0	△25,400
前払金(110周年記念事業費)	0	1,112,812	1,112,812
仮払税金	0	2,908,800	2,908,800
流動資産合計	55,833,958	72,056,853	16,222,895
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	18,821,529	18,821,529	0
定期預金	32,600,000	32,600,000	0
基本財産合計	51,421,529	51,421,529	0
(2) 特定資産			
建物施設積立預金(定額)	6,000,000	9,000,000	3,000,000
特定資産合計	6,000,000	9,000,000	3,000,000
(3) その他固定資産			
建物	80,852,198	78,467,145	△2,385,053
建物附属設備	10,524,375	9,661,311	△863,064
什器備品	1,565,355	1,423,150	△142,205
電話加入権	60,000	60,000	0
預り敷金引当預金(定額)	48,041,000	28,276,000	△19,765,000
その他固定資産合計	141,042,928	117,887,606	△23,155,322
固定資産合計	198,464,457	178,309,135	△20,155,322
資産合計	254,298,415	250,365,988	△3,932,427
1. 流動負債			
前受金	4,105,395	3,423,945	△681,450
前受会費・入会金	10,676,500	16,686,500	6,010,000
前受110周年記念事業費	0	16,295,500	16,295,500
預り金	113,444	210,800	97,356
未払法人税等	892,100	0	△892,100
未払消費税等	365,200	0	△365,200
流動負債合計	16,152,639	36,616,745	20,464,106
2. 固定負債			
預り敷金	48,041,000	28,276,000	△19,765,000
固定負債合計	48,041,000	28,276,000	△19,765,000
負債合計	64,193,639	64,892,745	699,106
1. 指定正味財産			
定期預金	32,600,000	32,600,000	0
受贈土地	18,821,529	18,821,529	0
指定正味財産合計	51,421,529	51,421,529	0
(うち基本財産への充当額)			
2. 一般正味財産			
一般正味財産	138,683,247	134,051,714	△4,631,533
(うち特定資産への充当額)	0	3,000,000	3,000,000
正味財産合計	190,104,776	185,473,243	△4,631,533
負債及び正味財産合計	254,298,415	250,365,988	△3,932,427

「うまい!」うれしいお礼のことば
きつと印象に残ります……………

味のめんたい **福太郎**

代表取締役社長 山口 毅 (52回生)

■配送センター・工場
〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

傑作まんじゅう
博多通りもん

株式会社 **明月堂**

秋丸 武士 (58回生)

〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-11-23
TEL(092)411-7777 FAX(092)411-7878

【平成24年4月～7月】

女子バスケットボール部

◆福岡県バスケットボールインターハイ大会予選 5月26日(土)かすやドーム
×福翔 53-78 北九州市立

ソフトボール部

◆福岡県高等学校ソフトボール大会(九州大会)5月19日(土)雁ノ巣レクリエーションセンター
(福岡県大会)

○福翔 8-0 九州
準々決勝 ○福翔 0-7 筑陽学園高校

※九州大会予選県大会第8位

◆全国総体福岡県大会 6月2日(土)筑後川河川敷総合グラウンド
(福岡県大会)

○福翔 3-2 筑紫

○福翔 5-2 杉森女子

◆6月3日(日)今津運動公園ソフトボール場

○福翔 3-1 九産大九州

◆高校総体ソフトボール福岡県大会 6月9日(土)雁ノ巣レクリエーションセンターソフトボール球場
×福翔 0-2 福大附属若葉

◆福岡県公立高校ソフトボール大会 7月22日(日)久留米市立久留米商業高校グラウンド

○福翔 10-0 久留米商業 <三回コールドゲーム>

×福翔 0-1 北九州市立

○福翔 2-0 福岡中央

※九州大会出場決定戦トーナメントへ

◆福岡県公立高校大会県大会(九州出場戦) 7月26日(木)小郡多目的運動公園ソフトボール場
九州大会出場決定戦

×福翔 3-4 南筑

バドミントン部

◆福岡県高等学校総合体育大会 4月28日(土)福岡県立スポーツ科学情報センター
(男子シングルス) (女子シングルス)

坂上 3回戦敗退 戸山 2回戦敗退

末次 4回戦敗退 田尾 2回戦敗退

森 2回戦敗退 斎藤 2回戦敗退

◆福岡県高等学校総合体育大会 4月28日(土)福岡県立スポーツ科学情報センター
(男子ダブルス)

末次・坂上 4回戦敗退

(女子ダブルス)

栗原・戸山 4回戦敗退 田尾・永石 2回戦敗退

片山・今和泉 2回戦敗退 斎藤・古澤 2回戦敗退

◆福岡県高等学校総合体育大会 5月12日(土)糟屋町総合体育館

(男子団体)

1回戦 ○福翔 3-0 福工大城東 (女子団体)

2回戦 ○福翔 3-0 筑紫台 1回戦 ○福翔 3-0 福岡工業

3回戦 ×福翔 1-0 福岡農業 2回戦 ×福翔 0-3 博多女子

◆福岡県高等学校総合体育大会 5月13日(日)糟屋町総合体育館

(男子団体)順位決定戦 (女子団体)順位決定戦

1回戦 ○福翔 3-1 福岡第一 1回戦 ○福翔 3-0 香椎

2回戦 ×福翔 2-3 福大大濠 2回戦 ×福翔 2-3 城南

体操部

◆全九州大会福岡県予選会 5月5日(土)北九州市立総合体育館

(男子団体)

総合3位 林・浦郷・倉員

(女子団体)

総合3位 佐々木・岡本・吉浦・田中

(男子個人)

林・浦郷以上二名 ※九州大会出場決定

◆全九州高等学校総合体育大会県予選6月2日(土)北九州市立総合体育館

(男子団体)

林・浦郷・倉員・橋本 予選合計67.50

(男子個人)

白川19位 山下20位

(女子団体)

佐々木・岡本・吉浦・田中 予選合計53.70

◆福岡県高等学校体操競技会兼

全九州高等学校総合体育大会県予選6月3日(日)北九州市立総合体育館

決勝(男子団体)

林・浦郷・倉員・橋本

(男子個人)

白川20位 山下21位

(女子団体)総合3位

佐々木・岡本・吉浦・田中

◆全国九州高等学校体育大会 6月23日(土)大分県立総合体育館

(男子個人)

林宏直 合計得点25.950 順位61位 予選落ち

浦郷哲弥 合計得点24.200 順位62位 予選落ち

女子バレーボール部

◆全九州バレーボール福岡県大会 5月19日(土)八幡南高校

福翔 0-2 九州国際大学附属

◆全日本バレーボール高等学校選手権大会 6月2日(土)嘉穂東高校

福翔 0-2 誠修

野球部

◆第94回全国高等学校野球選手権福岡大会 7月7日(土)福岡Yahoo!Japanドーム
1回戦 ○福翔 9-2 太宰府

◆第94回全国高等学校野球選手権福岡大会 7月11日(水)小郡野球場
2回戦 ×福翔 0-7 福大大濠

陸上競技部

◆全国高等学校陸上福岡県予選 5月25日(金)博多の森陸上競技場

川口歩美 走高跳 第1位 1m62 ※北九州大会出場

大楠翔一 砲丸投 第2位 13m48 ※北九州大会出場

小山義人 走幅跳 第4位 6m61 ※北九州大会出場

◆福岡県陸上競技対抗選手権大会中部ブロック予選 6月30日(土)7月1日(日)博多の森陸上競技場

蛭子屋雄一 B走高跳 第2位 1m80 ※県大会出場

有満光佑 A槍投 第2位 52m02 ※県大会出場

井手麻里子 B100m 第3位 13秒25 ※県大会出場

谷夏輝 B三段跳 第3位 12m86 ※県大会出場

中村健二 A円盤投 第3位 31m97 ※県大会出場

福田龍 B110m 第4位 16秒23 ※県大会出場

横尾崇光 B槍投 第4位 34m75 ※県大会出場

小山義人 A走幅跳 第5位 6m48 ※県大会出場

諫山花菜子 A円盤投 第6位 29m23 ※県大会出場

男子総合 フィールドの部 第3位 25.5点

県大会出場 9名

コンピュータ部

◆第24回全国高等学校情報処理競技大会 6月16日(土)北九州市立高等学校
(団体戦) 準優勝

(個人の部)

山本一希 準優勝 ※全国大会出場

大前琢磨 第3位 ※全国大会出場

写真部

◆九州高文連写真展福岡大会 福岡県立美術館 7月11日(水)

特選 宮崎優子「僕のハト」

入選 西丸菜穂「浮遊」

入選 宮崎優子「不思議ワールド」

書道部

◆第18回九州高文連美術・工芸・書道・写真展 都久志会館 7月13日(金)～7月15日(日)
宿里優希

吹奏楽部

◆第57回福岡吹奏楽コンクール 7月21日(土)福岡サンパレスホール
銅賞

簿記電卓部

◆全国・全九州高等学校電卓競技会 6月3日(日)福岡県珠算会館

<団体の部><個人の部>共に入賞なし

参加生徒 高村絵実

加藤祐実

生田明日花

山田理絵

◆全国高等学校簿記コンクール県予選 6月16日(土)福岡工業大学

<団体の部> 第5位入賞

<個人の部>

高村絵実 第9位 ※全国大会出場

加藤祐実 第30位

瓜生吏絵 第27位

生田明日花 第14位

山田理絵 第29位

広告掲載を募集しています。
広告掲載料金は一万円です。
お問い合わせは福商会事務局まで。



会長
高木 不二男 (60回生)
Fujiu Takaki

株式会社 ダリア
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-3-25
TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
E-mail/f-takaki@dalia.co.jp
http://www.dalia.co.jp

平成24年度 福翔高等学校 体育・文化部活動成績

剣道部

◆九州大会福岡予選会 5月13日(日) 久留米市総合スポーツセンター体育館
 (男子団体)
 ×福翔 1-2 筑紫台
 (女子団体)
 1回戦 ○福翔 3-1 折尾愛真
 2回戦 ○福翔 3-1 北九州市立 代表戦
 3回戦 ○福翔 2-1 八女 準々決勝
 準決勝 ○福翔 4-0 純真
 ×福翔 0-3 中村学園女子 準決勝
 ※準優勝 2年連続2回目 九州大会出場
 ◆九州大会 7月14日(土) 佐賀県総合体育館
 ×福翔 1-2 大分
 ○福翔 5-0 高千穂 1勝1敗1分け予選リーグ敗退
 ◆九州大会 7月15日(日) 佐賀県総合体育館
 福翔 1-1 八代白百合 1勝1敗1分け予選リーグ敗退
 ◆玉竜旗高校剣道大会 7月24日(火)~26日(木) マリンメッセ福岡
 (女子)
 2回戦 長野商業不戦2 | 5回戦 磐田西不戦4
 3回戦 北九州市立不戦3 | 6回戦 東興義塾大将戦負け
 4回戦 久留米商不戦2 | ※ベスト16
 ◆玉竜旗高校剣道大会 7月27日(金)~28日(土) マリンメッセ福岡
 (男子)
 2回戦 豊浦5人抜き(3年山下慎平)
 3回戦 長崎南山大将戦負け

柔道部

◆金鷲旗 7月21日(土)~22日(日) マリンメッセ福岡
 福翔 吉富 一本負け 関西
 栗原 一本負け
 吉田 一本負け
 田中 一本負け
 青柳 一本負け

女子サッカー部

◆福岡県高等学校サッカー大会 5月5日(土) 福翔高校
 ×福翔 2-3 福岡女学院

水泳部

◆福岡県高等学校総合体育大会水泳競技選手権大会兼九州高等学校体育大会水泳競技大会県予選 6月16日(土) 福岡県立総合プール
 (予選)
 400mフリーリレー 飼田・熊本・松村拓・松村脩 3分46秒82 6位 ※決勝進出
 (タイム決勝)
 1500m自由形 松村脩平 15分57秒70 1位 ※九州大会進出
 松村拓海 17分02秒05 3位 ※九州大会進出
 (決勝)
 400mフリーリレー 飼田・熊本・松村拓・松村脩 3分46秒70 6位※九州大会進出
 ◆6月17日(日) 福岡県立総合プール
 (予選)
 400mメドレーリレー 熊本・小研・松村脩・松村拓 4分10秒16 8位 ※決勝進出
 800mメドレーリレー 松村脩・松村拓・飼田・熊本 8分24秒31 5位 ※決勝進出
 (タイム決勝)
 400m自由形 松村脩平 4分08秒09 1位 ※九州大会進出
 (決勝)
 400mメドレーリレー 熊本・小研・松村脩・松村拓 4分15秒18 6位※九州大会進出
 800mメドレーリレー 松村脩・松村拓・飼田・熊本 8分18秒79 4位※九州大会進出
 ※8位以内九州大会
 ※川上は補欠で出場なし
 ◆福岡県高等学校総合体育大会水泳競技選手権大会兼九州高等学校体育大会水泳競技大会県予選 6月16日(土) 福岡県立総合プール
 (予選)
 200m背泳ぎ 西村梨沙 2分26秒53 6位 ※決勝進出
 200mバタフライ 鶴崎莉乃 2分20秒80 2位 ※決勝進出
 200m平泳ぎ 鬼崎真律加 2分43秒94 3位 ※決勝進出
 400mメドレーリレー 濱浦・鬼崎・大塚・児玉 4分35秒47 3位 ※決勝進出
 (タイム決勝)
 400m個人リレー 濱浦実結 4分57秒67 1位 ※九州大会進出
 (決勝)
 200m背泳ぎ 西村梨沙 2分25秒53 6位 ※九州大会進出
 200mバタフライ 鶴崎莉乃 2分19秒44 3位 ※九州大会進出
 200m平泳ぎ 鬼崎真律加 2分42秒17 3位 ※九州大会進出
 400mメドレーリレー 西村・鬼崎・鶴崎・濱浦 4分27秒82 3位 ※九州大会進出
 ◆6月17日(日) 福岡県立総合プール
 (予選)
 200m個人メドレー 濱浦実結 2分23秒99 1位 ※決勝進出
 100m背泳ぎ 西村梨沙 1分07秒39 5位 ※決勝進出
 100mバタフライ 大塚真由 1分05秒29 4位 ※決勝進出
 鶴崎莉乃 1分03秒50 1位 ※決勝進出
 100m平泳ぎ 鬼崎真律加 1分18秒56 7位 ※決勝進出
 400mフリーリレー 西村・児玉・大塚・濱浦 4分08秒56 5位 ※決勝進出

(決勝)

200m個人メドレー 濱浦実結 2分23秒99 1位 ※九州大会進出
 100m背泳ぎ 西村梨沙 1分07秒26 5位 ※九州大会進出
 100mバタフライ 大塚真由 1分04秒93 6位 ※九州大会進出
 鶴崎莉乃 1分02秒84 2位 ※九州大会進出
 100m平泳ぎ 鬼崎真律加 1分17秒17 7位 ※九州大会進出
 400mフリーリレー 濱浦・大塚・鶴崎・西村 4分07秒27 3位 ※九州大会進出
 女子総合成績 71点 3位

※8位以内九州大会
 ※川上は補欠で出場なし

◆九州高等学校水泳(競泳)競技大会 7月14日(土) 宮崎県立総合運動公園プール
 [予選]
 400m個人メドレー 濱浦実結 5分01秒08 4位 決勝進出
 女子400mメドレーリレー 西村・鬼崎・鶴崎・濱浦 4分28秒99 3位 決勝進出

[決勝]
 400m個人メドレー 濱浦実結 4分57秒97 2位 標準突破
 400mメドレーリレー 濱浦・鬼崎・大塚・児玉 4分27秒43 4位 標準突破

◆九州高等学校水泳(競泳)競技大会 7月15日(日) 宮崎県立総合運動公園プール
 [予選]
 200mバタフライ 鶴崎莉乃 2分20秒86 6位 決勝進出
 200m個人メドレー 濱浦実結 2分23秒05 2位 決勝進出

[決勝]
 200mバタフライ 鶴崎莉乃 2分20秒14 6位 入賞
 200m個人メドレー 濱浦実結 2分21秒74 2位 標準突破

◆九州高等学校水泳(競泳)競技大会 7月16日(月) 宮崎県立総合運動公園プール
 [予選]
 100mバタフライ 鶴崎莉乃 1分03秒49 4位 決勝進出
 100m背泳ぎ 西村梨沙 1分07秒48 8位 決勝進出
 女子400mフリーリレー 濱浦・大塚・西村・鶴崎 4分05秒63 6位 決勝進出

[決勝]
 100mバタフライ 鶴崎莉乃 1分02秒95 5位 入賞
 100m背泳ぎ 西村梨沙 1分08秒05 8位 入賞
 女子400mフリーリレー 濱浦・大塚・鶴崎・西村 4分04秒26 5位 入賞
 女子総合成績 40点 5位
 ※標準記録突破が高校総体出場

◆九州高等学校水泳(競泳)競技大会 7月14日(土) 宮崎県立総合運動公園プール
 [予選]
 1500m自由形 松村脩平 16分16秒65 5位 決勝進出

◆九州高等学校水泳(競泳)競技大会 7月15日(日) 宮崎県立総合運動公園プール
 [予選]
 400m自由形 松村脩平 4分08秒36 7位 決勝進出

[決勝]
 1500m自由形 松村脩平 16分15秒90 2位 標準突破

◆九州高等学校水泳(競泳)競技大会 7月16日(月) 宮崎県立総合運動公園プール
 [決勝]
 400m自由形 松村脩平 4分06秒18 5位 入賞
 ※標準記録突破が高校総体出場

ソフトテニス部

◆九州高等学校体育大会ソフトテニス競技福岡県予選5月19日(土) 博多の森テニス競技場
 (女子団体戦)

1回戦 福翔2-1 青豊
 2回戦 福翔2-0 久留米商業
 ベスト4による順位決定リーグ戦
 1回戦 福翔2-1 筑紫女学園
 2回戦 福翔1-2 博多女子
 3回戦 福翔0-3 中村学園女子 ※福岡県大会第3位入賞

◆5月20日(日) 博多の森テニス競技場

(女子個人)
 倉富・大谷 2回戦敗退
 ◆全国高校総合体育大会ソフトテニス選手権福岡県予選 6月3日(日) 桃園庭球場
 (女子個人戦)
 深見 穂乃花・牧川 奈央 3回戦敗退 ※福岡県ベスト16

男子バスケットボール部

◆中部地区インターハイ地区予選 5月3日(木) 宗像高校
 ○福翔 71-66 宗像
 ◆福岡県バスケットボール兼九州大会予選 5月13日(日) 稲築志耕館高校
 ○福翔 75-65 北筑
 ○福翔 78-72 直方 ※ベスト4
 ◆福岡県バスケットボール兼九州大会福岡県予選 5月20日(日) 飯塚市民体育館
 準決勝 ×福翔 79-89 福大大濠
 3位決定戦 ○福翔 103-87 玄界 第3位
 ◆福岡県バスケットボールインターハイ県予選 5月27日(日) かすやドーム
 ○福翔 80-66 北筑
 ○福翔 74-67 直方 ※ベスト4
 ◆福岡県バスケットボールインターハイ県予選 6月2日(土) 日本経済大学
 決勝リーグ ×福翔 78-105 福岡第一
 ◆福岡県バスケットボールインターハイ県予選 6月3日(日) 日本経済大学
 決勝リーグ ×福翔 67-96 福大大濠
 ○福翔 86-72 九産大九州 第3位

着任

挨拶

花田 恵子 (理科)



初めまして、今年度より初任者として福翔高校に配属されました。担当は1年生の生物基礎と2年生の生物Iです。初めての場所で戸惑うことも多い中、温かい先生方と生徒たち、中庭の亀やアカハライモリに支えられて日々生徒共々成長していきたいと思っております。まだまだ頼りない面も多々あると思っておりますが、よろしくお願い致します。

長田 拓実 (地歴科)



今年度、福翔高校の1学年担任をさせていただきますことになりました。慣れないことやわからないことが多いですが、とにかく目の前のことに全力で取り組むという日々を過ごしており、とても充実しています。生徒たちの成長に貢献できるよう、生徒指導や学習指導を「本気」でやっていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

飛松 正義 (国語科)



「水は低きに流れる」西陵高校から4月に転任しました。実は、8年前に総合学科2回生を卒業させて戻って参りました。冒頭の「水は…」ですが、これは私の人生訓です。ややもすれば、低きに流されてしまうのが人間です。逆流することで有名な中国の钱塘江の波涛とはいかなくとも流れに棹さず人生でありたいと思っています。

田中 大介 (技術吏員)



初めまして。今年の春から異動して参りました。高校勤務は初めてです。今までの小中学校勤務とは勝手が違うので緊張していましたが、ようやく雰囲気にも慣れてきました。生徒や先生方にとってより良い学校環境となるように整備・営繕に努めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

米原 光章 (保健体育科)



初めまして。交流研修で古賀竟成館高校から参りました。担当教科は保健体育で、専門種目は陸上競技です。今年度は生徒会活動を担当します。体育祭など学校行事で生徒たちが自主的に活動できるようにサポートしていきたいと思っております。部活動などを通じて、文武両道に少しでも貢献出来るように頑張りたいと思っております。

吉永 圭子 (数学科)



初めまして。4月に着任しました。今年度は数学と理科が新課程となった1学年の担任をしております。来年度入学生からは全教科新課程となりますが総合学科にまだ慣れず、日々新しい発見があります。文武両道の伝統ある福翔高校で、生徒たちの進路実現のお役に立てるよう努力したいと思います。よろしくお願い致します。

因幡 隆幸 (理科)



博多工業高校から異動して参りました。初任校が福翔高校であり、8年ぶりに戻ってみると、様々な面で大きく変化しており戸惑うこともよくあります。まずは今の福翔高校に慣れ、自分がやれることを1つずつこなしながら、生徒が進路実現を達成できるよう、全力で取り込んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

【教育目標】

- 自己理解を深め、進路目標を設定し、個性の伸長と目標実現に向けて積極的に活動する人間の育成。
- 自ら考える力と豊かな心を持ち、他と協調して課題解決に取り組み、生活を改善しようとする人間の育成。
- 国際化や高度情報化など社会の変化を自覚し、生涯学習を通して自己教育力を高めながら社会に貢献しようとする人間の育成。

入佐 一博 (事務)



今年4月の人事異動により着任いたしました。高校の事務が初めてでとまどうことばかりです。約3ヶ月が経ちましたが、まだ先生方の顔と名前が一致しません。早く覚えるようになりたいと思っております。微力ではありますがお役に立てるようになりたいと思っております。どうかよろしくお願い致します。

中橋 智洋 (事務)



初めまして。今年4月の人事異動で参りました。高校という教育の場に戸惑うことの多い毎日ですが、伝統ある当校に1日も早く慣れ、より良い学校環境となるよう施設整備などに力を注いでいきたいと思っております。福翔高校の生徒の礼儀正しさと先生方の指導力には驚かされています。よろしくお願い致します。

【予防法務】

相続・遺言・任意後見契約等に関する書類作成及び相談

行政書士 山口幸生 (61回生)

福岡県行政書士会会員
山口幸生行政書士事務所
〒810-0044
福岡市中央区六本松3-11-45 カーサ大濠 202
TEL(092)751-6655 FAX(092)751-6656



Ad Agency
株式会社 春潮社
Shun cho sha
since 1933

代表取締役 古川 淳二 (63回生)

□本 社 〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-12
☎092-641-1031 ☎092-631-2690
営業所/営業部 久留米

交通広告/電柱広告/開院・開業ツール/マス媒体広告/SP広告/屋外広告
www.shunchosha.co.jp



株式会社 堀江本店

代表取締役 堀江 徹 (75回生)

〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
TEL(092)503-0121(代)
FAX(092)504-1219

広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

私たちはコンピュータ部は、顧問の宮脇先生、久保田先生、梅崎先生のご指導のもと、国家資格である基本情報技術者の資格取得と全国高等学校情報処理競技大会（以下 全国大会）出場を目標として、日々勉強に励んでいます。

まず全国大会への第一歩として、昨年9月に実施された全国商業高等学校協会（全商）の情報処理検定を受けました。体育祭と日程が近かったこともあり、とても大変でした。最初は、合格点には程遠かったのですが、先生方の熱いご指導のおかげで、本試験では高得点で合格することができました。

次に、国家試験である経済産業省の1Tパスポートという検定を受けました。この検定は、内容がとても広く、全商の情報処理検定

努力の結果

現役福翔高校生の部活ライフ

VOL.14 今号は
コンピューター部

の2倍も3倍も難しいものでした。放課後は毎日遅くまで勉強し、休日は専門学校で講義を受けるという日々が続き、逃げ出したくなることもありました。しかし、ともに頑張っている仲間と励ましあい、支えあうことで乗り切ることができました。友人から「一緒に頑張ろう」という言葉を聞いたとき、私は仲間の大切さを改めて感じる事ができました。

今年の6月、全国大会への出場をかけた福岡県大会が開催されました。私たちは、1年間、検定や日々の勉強を通して身に付けてきた実力を十分に発揮することができ、団体で2位、個人で2位と3位に入賞することができました。

団体では惜しくも全国大会への出場は叶いませんでしたが、個人の部では2人、出場が決定しました。目標にしていた「全国大会」を達成することができ、喜びとともにより一層努力をしよう、身の引き締まる思いでした。

全国大会では、これまで培ってきた知識や技術を最大限に生かし、上位入賞を目指します。また、それらを社会人になった時にも役立てていけるよう、これから精一杯頑張りたいと思います。



コンピュータ部 部長 大楠 智

2012 アジア・ユース・フォーラム in 釜山

参加報告 参加国：中国・台湾・インドネシア・韓国・日本 開催日：7月24日～26日

■プレゼンテーション■

今年のテーマは『私たちの未来を切り開く』でした。日本に課せられたテーマは『未来の交通機関』です。未来の車の安全性について英語で発表しました。発表の後は質疑応答の時間が設けられました。運転中の携帯電話の使用について質問されました。



■タレントショー■

各国、出し物を披露する時間でした。日本は二つのチームに分かれて、一つはK-POPの歌とダンスです。もう一つはアジアの若者に人気のあるアニメーションの主題歌を歌いました。最後に日本チーム全員でSMAPの曲を英語で合唱しました。

■カルチャー・ナイト■

自国の伝統文化を披露するものです。日本チームは全員浴衣を羽織り、まず盆踊りを披露しました。それから、節分の豆まきなど、伝統行事を月ごとに実演を交えて説明しました。



■韓国の文化体験■

韓国の伝統の踊りをしたり、伝統的な遊びを体験しました。蹴鞠のようなものや、日本の輪投げのようなものでした。写真は、踊りの衣装として腕に付けるものです。

■グループ・ディスカッション■

参加生徒約100名を6班に分けて行なうグループ討議です。プレゼンテーションと同じく『私たちの未来を切り開く』をテーマに話し合いました。『未来の乗り物』『未来の教育』『未来の職業』等のテーマについて意見を出し合いました。



■グループ・ディスカッションのプレゼンテーション■

各グループで話し合ったものを全体の前で発表しました。パワーポイントを活用したり寸劇をしたりして発表しました。グループで学習した内容をまとめることができました。

□2年3組 中村直樹

今回のフォーラムに参加して、一番印象に残ったのはほかの国の人たちの向学心が高かったことです。ほとんどの人は英語を話せていたので、自分ももっと英語力を上げてできれば来年も参加したいです。

□2年4組 中島麻美

福商会のみなさまご支援ありがとうございました。私はこのフォーラムを通して、実際に会話しているとわからない単語や言いたいことが言えないことがたくさんありました。だから私は英語を今よりたくさん勉強して、自分の英語力を上げていこうと思います。

□2年5組 原田朋

福商会のみなさまご支援ありがとうございました。今回のフォーラムで自分の英語力がまだまだ低いものだということが分かりました。相手の話していることが分からなかったり、自分の言いたいことが言えなかったりしたので、これから英語を上達させるために努力していきます。

□2年7組 前嶋友一朗

福商会のみなさまご支援ありがとうございました。今回のフォーラムを通して去年参加した生徒たちから聞いてはいましたが、他国の生徒たちの流暢な英語に非常に驚きました。将来は彼らのような英語を喋れるようにこれからも英語を勉強していこうと思います。



どう しゅう



おうらい

松永 洋子さん (72回生)
(旧姓古賀)



ばれていました。

七年前に、ご主人の転勤で東京、それを機に同窓会を企画しました。それまで、東京に住んでいても会う機会がなかった同級生でしたが、「ヨコシ上京」の情報は、同窓会開催には十分な情報でした。

同窓会に登場した「松永さん」は、私のよつなサラリーマンとは違い、輝いていました。

『今、何やっての?』と聞くと、「国会議員の秘書」これまた、びっくりでした。

後で聞いた話では、秘書になったきっかけは「知人に薦められたから」だそうだが、薦められたからと言って、「はいやります」と言える仕事ではないと思いますが、彼女の積極的な性格が可能にしたいと思います。それと彼女の、元気でテキパキとした行動を見ると、秘書は大職だと思っています。

政局はめまぐるしく変わり、二人の国会議員の秘書を経て、一年半前から「松原内閣務大臣」の秘書として頑張っているそうです。日々、内閣の大臣を支える多忙な業務をこなし、家に戻ると家庭の主婦として、ご主人を支え、二人の男の子の母親として、家事も頑張っているそうです。

その忙しい中でも、同窓会に参加してくれて盛り上げてもらっています。今年の東京支部合同同窓会の72回生の当番幹事にも参加して頂き、福翔卒業生の二男、洋一郎君(100回生)まで動員してくれました。

合同同窓会でも日頃の国務大臣秘書を思わせるフットワークの良さで大活躍でした。私から見ていると、松永さんは輝いて見え、充実した人生をおくっているのだなと感じます。

体に気を付けて、今後の東京の同窓会を盛り上げて頂きたいと願っています。

永翁 利成 (72回生)

古賀 正和さん(74回生)



74回生の次期理事候補の古賀正和君を紹介いたします。

彼は福商時代は陸上部部長で砲丸投げをしていて、当時の体育教師八木雅夫先生の1期生として苦しい夏の合宿を耐えた「ガッツ」のある人物です。

インターハイには出場できなかったものの、現在は福商陸上競技部のOB会を確固たるものとして立ち上げ、また、現役選手たちの応援にも注力しています。

福商卒業後は、西南学院大学に進み、経済学部を卒業。

昭和56年に日本屈指の塗装販売商社、(株)西井塗料産業に就職。一級塗装技能士の資

格を取得し、8年余の経験をもとに、平成元年篠原塗装(株)に入社した。その後専務取締役を経て平成23年代表取締役に就任した。

現在は営業、現場管理、総務全般と日夜走り回っている。

同窓生とは平成11年に合同同窓大会の当番幹事を務めたため、今でも数多くの仲間と酒飲み、魚釣り、野球観戦、ゴルフと忙しい毎を送っている。

奥様も74回生で、姉(72回生)いとこ(74回生)甥(99回生)と福商一家である。福商会代議員を永く務めた後、来年には74回生の福商会理事を務めてもらう予定であり、これからも福商会との関わりはますます深くなるのは必定であり、今後の活躍を祈念している。

末松 義成 (74回生)

豆田 優子さん(76回生)
(旧姓谷光)



(旧姓谷光)

福商時代の思い出は? と尋ねるとさかさず憧れの先輩がいた部活(現役時代バスケット部マネ

ジャー)先輩をみるだけで「日がルンルン気分まで過ごせたこと。帰りの中尾坂のきつかったことや、お店の肉マンのおいしかったこと、雨の日も、晴れの日も、寒い雪の日も通った学生時代の思い出がいっぱいの中尾坂。忘れていた3年間がよみがえってきましたとのことでした。

先日のおさくら会定例会に参加し、福商の歴史とともに多くの先輩方や後輩がいることに改めて感じられ、一時の体験が久しぶ

りに母校の絆を感じられうれしかったと言われ私も同感、意気統合しました。彼女は現在、福津市で市議会議員2年目です。今までの経験を生かし前向きに進まれ頼もしい限りです。

福津市在住の会員のみなさん応援よろしくお願致します。

平田 哲子 (64回生)

野村 木乃実さん(78回生)



在学中は剣道部に所属、卒業後九州産業大学へ進学しその後、神職を目指し国学院大学へ進学。

福商剣道部で培った「努力・忍耐・信念」を糧に現在、太宰府天満宮の神職として神事・催事等でご活躍されています。

太宰府天満宮では企画広報課に所属し、年間いろいろな行事をこなされ特に「梅の親善使節」の担当として、首相官邸をはじめ全国各地へ東奔西走されています。

同じ道を究めるものとして剣道と神道は相通するものがあるそうで、まず袴着姿で礼を重んじ、精神の鍛練を行う結果、特に正座が強くなるそうです。

同窓生のみなさん、知恵を授かりに太宰府天満宮へ御参拝に行かれてはいかがでしょうか。

九州国立博物館、だざいふ遊園地があり、自然に溢れ、四季折々の文化の香りにひたるのもいいかもしれません。

お願い事がある方は御相談してみても!

跡部 宗教 (79回生)

42回生 恒例の同窓会

5月19日(土)新緑の若葉が輝くこの季節に恒例の42回生同窓会を天神テララ(花万葉)で開催しました。

福商会から山口理事長に出席いただき、100周年記念事業にかかる募金協力のお礼や、9月末を目途に福翔歴史資料室の完成と記念誌発刊の話がありました。

同窓会は、今年も14人の同級生が集まり、元氣な顔をみせてくれました。

卒業67年を経てもなお、母校への思い入れは強く残っており、福商会、母校の更なる発展を祈念する声が多く出ました。

最後は、出席者全員が来年の同窓会で再会できることを祈って散会しました。

東村 郁夫(42回生)



平成24年度東京支部 合同同窓会

6月23日(土)東京・霞が関ビル35階の東海大学交友会館で、平成24年度総会及び合同同窓会を開催しました。

参加者は福岡からの来賓3人を含め89人でした。最年長は川本義男先輩(35回生)から山口浩平君(100回生)までの幅広い年代の参加がありました。



平成24年度定時総会を行うに当たり、昨年より東京支部長となられた大塚重敏さん(52回生)より力強い抱負の挨拶があり、今後の活動に対し意気を高めました。

片山事務長より平成23年度事業報告、平成24年度の事業計画を出席者の全員の承認を受けました。来賓挨拶では、福商会山口理事長より、100周年事業への取り組み、並びに卒業生の今一層の協力要請がありました。

谷本副校長からは、現在の福翔高校の各クラブ活動の輝かしい成果、国立公立大学を目指す学業の志の高さ等が紹介されました。

米寿・傘寿・喜寿・古希の会員の方々にお祝いを申し上げ、皆様のお喜びのまますますのご活躍をお祈り申し上げます。

つづいて、伊賀良雄先輩(42回生)の乾杯

の音頭で懇親会を開始。伊賀先輩はNHKを退職されてからも、合同同窓会に毎年出席を頂き、その雄姿を見せて頂いております。

会場は卒業回生ごとのテーブルを用意、各テーブルでは久々の再会、初めてお会いする先輩・後輩で話が弾みました。

篠原裕治先輩(60回生)が各テーブルを回って、同級生の写真を撮って頂きました。

今回のアトラクションは、秋重剛君(87回生)による「歌とマジックショー」を、「杏(YO)ふるや」さんと「マジカル・マジカヨー」のユニット名で、手品と歌で盛り上げて頂きました。

特に杏さんのエレクトーンに合わせて、「上を向いて歩こう」などの曲を全員で熱唱した時は、皆さん青春に戻っていました。



最後に、平井哲三先輩(41回生)の指揮のもと「校歌」「応援歌」「凱旋歌」を歌い、ご来賓の後藤専務理事より「校歌を四番まで歌うのは大変良い事です」とのお褒めのお言葉を頂戴して盛り上がりました。

同じ「校歌」を共有する仲間として年齢性別を超えて大いに母校を誇り、思い出に浸りました。

同窓生の交流の場として、是非ご参加頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

「あんたも、よかつたら、出てこんねー! まっちゃんばい!」
永翁 利成(72回生)

第1回福商 福翔陸上部OB会

平成24年1月8日(日)、セントラルホテル福岡において第1回福商・福翔陸上部OB会の発足会を行いました。



当日は全国各地から61回生から108回生まで、約100人が集まりました。

それと、歴代のの上野先生、八木先生、図師先生にも出席して頂き、盛大に行われました。

その中でOB会会長にの南原氏(71回生)を満

場一致で決定しました。

今後はOBたちの親睦と現役の陸上部員たちをいろいろな形で応援していこうということで、今回の発足会費の一部を図師先生へお渡ししました。

最後になりましたが、OB会発足のために尽力された幹事の方々ご苦労さまでした。OBのみならずまた来年お会いしましょう。

古賀正和(74回生)

さくら会だより

さくら会は、誰でも気軽に参加できる会。皆さんの参加を是非お待ちしております。

第75回さくら会定例会
ゲストを迎えて

「気楽な勉強会」

開催日 7月19日(木)



カメラマン築地さん(85回生)のハイポーズにあわせて記念撮影

谷本副校長が語る
『福翔高校の今!!』

◎楽しい時間でした。ぜひ夢を現実しましょう。応援します。

吉田 益美 (別科10回生)

◎副校長の熱い語りに母校の変化をヒシヒシと感じました。25年度以降の進学コースに期待します。過去は東に横浜商業、西に福岡商業ありでした。

中谷 恵子 (52回生)

◎スコイと思いました。母校の先生方の熱心な取り組みに頭がさがります。これからもよろしくお願い致します。

田中 順子 (64回生)

◎母校は永遠にあると思っていました。統合？心配です。

吉井 幸子 (66回生)

◎話をうかがい福翔をPRし、沢山入学させたいと思いました。続演をまたぜひ聞かせて下さい。

山田 陽子 (69回生)

皆さんご存知ですか？
今、福岡市立高校を取り巻く状況をー福岡市立高等学校活性化に向けた取進方針をー母校の現状を谷本副校長先生に熱く語っていただきました。

◎夢のある話が聞けて楽しかったです。中高一貫学園が実現する？ といいですね。徳育・食育に力を入れておられると聞き安心しました。

松本 清子 (69回生)

◎時代の変化にそって学校教育も変わっていくこと、よくわかりました。

福商→福翔→更なる福翔へ！期待します。

毛利真紀子 (69回生)

木庭しげ美 (73回生)

◎現状がよく理解できました。先生方の熱い想いに感動しました。生徒さんの頑張りを聞いてよかったです。

高田 崇子 (70回生) 市村さつき (79回生)
津田佐代子 (84回生) 豆田 優子 (76回生)
平塚みゆき (85回生) 築地 薫 (85回生)



熱心に聞き入るメンバー

玉竜旗高校剣道大会
応援ありがとうございました

九州大会は食中毒というアクシデントにあい力を出せず残念。玉竜旗は、6回戦ベスト16位でした。新たな飛躍に期待して下さい。

毛利 真紀子 (69回生)

母校の
環境美化への
ボランティア隊

6月8日(金) 恒例になりました母校へのボランティア活動。今回は花壇の植え替え、雑草除去に生徒さんやご父兄のみなさんと汗を流しながら快よいひとときをすごしました。みなさんのご参加ありがとうございます。



ー花壇の植え替え終了後、生徒さんと保護者、先生方とー

第75回 さくら会 イベント
日時 平成24年10月13日(土)
日本銀行前(天神昭和通り)
9時集合

太宰府支部訪問交流会

内容

(一部)「日本の心・雅楽」

みんなの知らない神社の一日

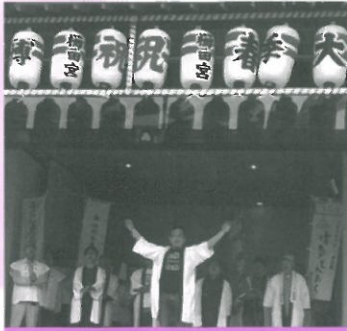
講師 太宰府天満宮 禰宜八坂宣匡氏

本殿にて参拝の予定

(二部) 太宰府支部訪問交流食卓

会場 寿し栄

会費 3500円



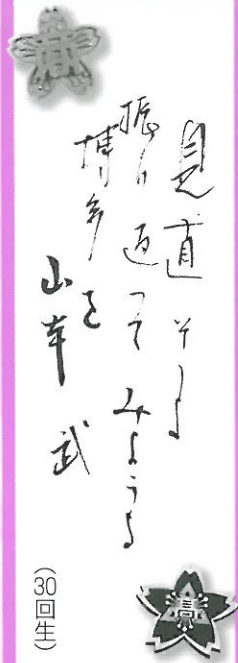
今年も、博多町屋ふるさと館に午前10時集合。メンバーは毎年の人もいれば、初参加の人もいて、25人であった。まず、櫛田神社でお祓いを受けたあと、舞台上で第一声をあげる。

2000年5月4日、
寄合処胡瓜昇(博多座裏)
故・前谷勝二さん(58回生)が発起し、的場秀二さん(72回生)に引き継がれている。
OBによるふくしゅうとおりもん隊(福商Or福翔なので、共通のひらがなにして)の始まりは現在の、(株)岩田屋三越本店前にて、校歌、応援歌を声高らかに熱唱し、栄華が続くよう、祈ったのが最初である。
いよいよ応援隊作動開始。博多町屋ふるさと館隣の尊はし本店の小島健さん(64回生)は、おだやかな先輩で福商会らしい健気さを感じた。



引き継がれている

—ふくしゅうとおりもん応援隊—

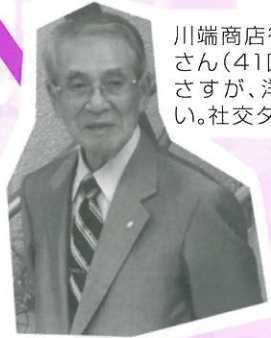


(30回生)



先輩、後輩たちよ、
飲みに来て下さい。

焼鳥居酒屋しんちゃん 田中 真也さん(72回生)



川端商店街にはいり、(株)花村の花村 清二さん(41回生)花村 幸祐さん(38回生)さすが、洋服店主らしく、背広姿が美しい。社交ダンスもされているらしい。

(株)明月堂

秋丸 武士さん(58回生)は残念ながら不在であった。

サトウ家具店

故・佐藤 憲三さん(34回生)
故・佐藤 弘さん(40回生)

物故者の先輩に届くよう、持参の太鼓で『熱・意気・力』高らかに轟きわたる。

アメリカ屋半田公一さん(83回生)皆、ジープを買うなら馬のしるしをめざしていこう。



博多人形(株)増屋
田中 寛さん(40回生)
高崎 隆さん(43回生)

何軒か回ってお茶接待を受けるなかで、(株)増屋さんの煮付けは抜群で、一同忘れられぬ味だった。感動!

変わったのがあるよ。



吉塚うなぎ

徳安 隆さん(67回生)

駐車場において熱唱の後、お昼時を過ぎたせいか、ふるまわれたうなぎに群がり食す。



博多座からの要請に応じて、一声を唱す。道をはさんで向い側の花のタカキ神代 昭三さん(86回生) ロビン故・川邊 清さん(33回生) 故・島田 重次さん(34回生) 太兵衛 上杉 百正さん(58回生)と歩き、須崎の石村萬盛堂 石村 善治さん(41回生)に行き、寿恵広を頂く。さすがに老舗らしく、本式のものを頂く。

最後に、博多座裏の胡瓜昇、故・前谷勝二さん(58回生) 故人になられました。が、ふくしゅうとおりもんの起源をつくられたことに感謝しつつ、思い出を語りながら遅い昼食をとる。この「ふくしゅうとおりもん応援隊」は本当にすごいなと思いました。初参加ながら、もうずーっと以前より参加していたような気分になり、いつしか溶け込んでいました。この感動を一緒に味わいたいと同感される友よ、来年こそ一緒にしましょう。

同行取材 55回生 大庭 貞子
写真提供 61回生 金子 浩文
紙面編集 61回生 中村マエ子

11月29日(木) 紅葉狩り兼ねて忘年会

※どなたでもご参加下さい。

会長 大庭 貞子(55回生)

東日本大震災で被災された先輩、後輩のみなさん。九州北部豪雨に被災された先輩、後輩のみなさん。一日も早く元気になってください。

第12回福商会筑後支部 同窓会

「第12回福商会筑後支部」同窓会を6月17日(日)久留米ハynesホテルで開催しました。開会にあたり、去る3月16日ご逝去された荒井昌夫先輩(38回生)を偲び、全員で黙祷してご冥福をお祈りしました。享年90歳。



始めに天野勝支部長(56回生)からの開会挨拶。今回出席頂いたさくら会会長平田哲子さん(64回生)メンバー5人の方々にお礼と歓迎の挨拶がありました。

次いで福商会本部から後藤専務理事、青木事務長のご挨拶があり、本年9月末に待望の福商歴史資料室が竣工する説明があり、10月以降に福商会筑後支部メンバーで「母校訪問」を行いたい旨をお願い致しました。しばらく懇談した後、「福商会筑後支部」の今後の活動について話し合いをしました。内容は

①「福商会筑後支部」を久留米・小郡・基山、

筑紫野、八女、鳥栖の4ブロックに分け「同窓会や催し等」の案内を各ブロック連絡責任者が電話してお誘いの声かけを行い、一人でも多くの同窓会への参加を呼びかける。

②お楽しみ交流会(ゴルフ、グランドゴルフと温泉、イベント参加など)を催し、相互親睦をもっと活発化する。

③米寿(88歳)喜寿(77歳)古希(70歳)の長寿祝いを福商会本部と連携をとりながら行う。

などの意見を出し合い、詳しくは後日、改めて話し合うこととなりました。

また、恒例の森住先輩(42回生)のマジックショーが披露され、華麗な手品を楽しみました。

このあと「福商校歌」を斉唱し、またの再会を約して万歳三唱を行い、散会しました。

中富 賢一(62回生)

同期の桜に感謝 感動をありがとう

60歳を過ぎた頃「坊がつる讃歌」の歌詞に心奪われ、いつか行ってみたいと思っていた。

同期の山岳部主将であった長野稔君に連れて行って欲しい旨を2010年2月に話したところ「自分は仕事の都合上無理」との事で、山下孝君に声を掛けてくれて山登り初挑戦の運びとなった。スケジュールはもちろん衣類や装備、所持品など細々と指導してくれ、晩秋の九重連山2泊3日の山登りとなった。

1日目は博多駅前集合し、11時半に標高1000以上の長者原に着き、名物のだご汁で腹ごしらえ。タテ原湿原に続く飯田高原を左手に見て、雨ヶ池越の木道を歩き樹林帯に入り、最後の山脈を抜けると金粉を散らしたようにキラキラと光るスキの大平原。それが坊がつるの湿原でした。

あまりの美しい光景に、ただその場に立ち尽くしパートナーたちに感謝、感動をありがとう。夢がなった瞬間です。

愛川一枝さん、出嶋郁子さん、仲西茂久君、平山一夫君、白木良昭君、そしてリーダーの山下孝君ありがとう!!

黄金の平原を横手にしながら宿泊先の九州最高峰の湿原、法華院温泉山荘に着いた。

2日目は8時半に山荘を出発、山荘背後の岩場の急斜面を登り北千里浜硫黄山の真裏の火口原を歩き、久住山頂へ。久住綾線を経て九州最高峰の中岳山頂へ。御池を横にしながら山荘へ帰り温泉に入ると疲れも全部忘れる。

3日目。再度急斜面を登り北千里入口地点へ。ここに長野君が待っていた。思わず感嘆の声。この機会を与えてくれたことに礼を述べた。

スガモリから三俣山へ。山頂では、長野君差入れの甘い甘いアンパンと、ちよっと苦めのコーヒーに心踊った。なんと幸せな事よ、よき友よ。小休止した後、岩を縫うように下山し長者原に戻った。

そして今年大船山、北大船、平治岳に群生するミヤマキリシマを見に登った。タテ原湿原から坊がつるへ。

初夏の平原は、薄緑色の中にさまざまな色の花が点々とあり、心穏やかに癒される風景となっていた。北大船、平治岳と山一面のピンク色は、圧巻であったが、大船山の山頂から5分ほど下がった所に神秘的な御池がありました。ミズスマシが水面を揺るがし、周りはまるで、京都の庭と錯覚するほどの感動ものでした。

月日がたった今でも写真を見るたびに、あの美しい自然に会えたことを嬉しく思います。中村 タエ子(61回生)

登山でヒヤリ注意力大事に

今年5月30日から6月1日、ミヤマキリシマがきれいな時期に、同窓生7人で九重山群の大船山と平治岳に登山した。法華院温泉山荘に1泊。大船山、北大船山を経由して平治岳に登り、法華院温泉山荘に戻り、また1泊し、すがもり越えで長者原に戻るコースで余裕のある計画であった。

北大船山から平治岳に移動するときにトラブルが起きた。途中の分岐点で違うルートを下りていた。地図も方位計も持っていたが周りがやぶで役に立たない。皆がおかしいと気づくのが早かったため、やぶをかき分けて平行移動し事なきを得た。高齢の登山者の遭難がニュースになることが増えている。山では何が起るか分からない。十分な装備をして、余裕を持った計画をしていてもなお、細心の注意が必要であることを実感し、再確認した。

平山 一夫(61回生)

私は戦前、戦中に旧制中等学校（五年制）の教育を受けた。当時人口30万余りの県都（現148万）には県立中学校三、工業学校と農業学校各一。それに市立商業学校一校がある。それぞれの通学地域は県の四分一程度に広がっていた。私は貧乏のさなか大学、高等専門学校などへの進学はとも考えられなかったから市立商業に進んだ。この学校は明治19年（1886年）、町の商人たちが力を合わせて創ったもので、すでに出光興産の社長出光佐三氏、飯野海運の創設者俣野健輔氏なども輩出していた。

時代が時代だけに、とくに男子の中等学校は、軍隊の下級将校、下士官の養成校の様相でもあった。上級生になると個人あての三八式歩兵銃が渡され、それを肩に連日のように軍事教練が行われた。職員室には地元連隊から配属将校の机があった。中尉が多かったが、時に少佐がいたことがある。生徒の軍事教練だけではなく、職員室の思想統制への無言の圧力でもあった。

一睡もせず24時間の行軍を三回経験した。20キロマラソンは毎年行われた。三学期が始まると午前七時から二週間の寒稽古の剣道。素足、砂利の運動場でのこと。爆雷に見立てた箱を抱いて匍ふくして、戦車代わりの大八車の下に潜り込む。命と引き換えに戦車を爆破させる訓練。雨の日には雨天体操場を時間きっちり駆け足で走らせられた。身体だけでなく兵士として必ず覚えねばならない「軍人に賜りたる天皇の勅諭」。これは長文だった。首相、陸軍大将であった東条英機が作った「戦陣訓」。歩兵操典、作戦要務令の一部などすべて頭に叩き込まれ、すらすら言えるようになっていた。

だから、二十歳になって国民の三大義務の一つである徴兵令で本籍地である長崎県大村市の歩兵第二七連隊に入隊したとき、兵士として最も苦しい時期である初年兵教育の三ヵ月

は、他の人に比べるとかなり楽であった。いろいろな兵士としての動作がすでに身体につき、覚えるべきことは大方覚えていたから、午後九時消燈後の恐怖である私的制裁もわたしは他用を言いつけられ、その場から外されるが多かった。期せずして優秀な初年兵が出来上がっていたのだ。

あらためて、当時の中学校が軍国主義国家で、どんな役割を担っていたかが分かる。だが、こんな兵隊準備校のような学校であっても、それぞれに個性的、それなりの風格をもった教師がすらりと並んでいたことを思い出す。

毎年四月の新学期、新任教師の紹介と着任の挨拶がある。この数分間に彼のニックネーム



がつけられる。機知にとんだ上級生の一人が口にし、たちまち全校生徒にさざなみのように広がる。個性的な教師がいて、それだけ豊かな発想の出来る生徒たちがいたということになる。「国民精神総動員」などぞら恐ろしいことが叫ばれ、軍事教練まっ盛りながら、資本主義の極めて初期的段階に日本最初の開港地という歴史をもつ街の商人たちの手で創られた自由への願望は、市立商業学校にまだ枯れずにあつたのであろうか。

ニックネームは別に皮肉っぽいものでもなく、隠微なものでもなかった。「ターザン」は声も身体も大きかった。「次郎長」は何となく親分を感じさせた。「ペラ金」は東京下町の出身で、ペランペラを使う金子という姓。「カマキリ」はまさにカマキリのようなやせ形

で目が大きい。「オタンチン」は足のひざの運びに妙なくせがあつて、ふらつくように見える。というような、たわいもないことだった。

「美男子」といわれる国語の教師は長身、グリークパーを思わせる端麗な容姿。私の五年間の担任。神官皇学館大学卒の新任。当然「唯神道、神ながらの道」を学んで来た人であつたろうが、すくなくともそのことを生徒に強要することは全くなかった。私が当時の風潮でもあつた徴兵前に軍隊に自ら志願して入隊する制度の一つで、最も有名であつた甲種飛行予科練習生（通称、予科練）つまり特攻隊員への道を歩もうとしたとき、「お前は母子二人暮らし、死急いでお母さんを悲しませるな」と止めてくれた人。戦争中なかなか出来ないことであつた。そして「お前は学

忘れぬ教師は偉大である

林 力(41回生)

校の先生になれ」と進路指導をしてくれた。おかげで、私は戦死する機会を逃れ、生涯、教師としての道を歩くことになる。恩ある人である。逝かれるまで人間関係が続いた。

地理の「カマキリ」の時間は楽しかった。時代はまさに日本が勝手な覇権主義でアジアの劣等民族どもを優秀な大和民族が統治するのが使命と勝手に思い込んでる時代。当然、アジア重視の地理が求められていたのだらうが、アジアどころか地図帳一つ開かず、一年中漫談であつた。彼はすでに何回も地球をめぐっていて、結局、世界には、いろいろな民族がいろいろな歴史の流れを踏まえ生きている。民族に特色はあつても優劣はないことを笑ひ、漫談を通じて語りかけていたのだ。その意味で巧みな反戦教育であつたことはずっと

後になって気付いた。

修身（いまの道徳に相当）当然、忠君愛国が根本理念であつたはずだが担当の「ヤマサン」は教科書ページもめくらず、ひたすらにギリシャ神話を讀んだ。生徒の手に本がないので出て来る仮假名の名前の多さに困つたが、やがて「鬼畜米英」をスローガンにした太平洋戦争への国家的大旋風を前にしてのこと。当面の敵米英を口にせず欧米の文化の深部について述べたギリシャ神話に徹したのであろう。何年生の頃だったか、彼は生徒たちの前からお別れの挨拶の機会もなく、姿を消した。憲兵（軍の中の警察。民間の警察官をも逮捕する権力を持っていた）に連れ去られたというささやきがどこからともなく、広がった。

英語の教師「オタンチン」は必ず授業前五分前後の「雑話」をした。多くの生徒たちが楽しみにしていた。1943年5月のこと。教室に入つて来た「オタンチン」は級長の起立、礼の号令も無視して、黒板に向かって「巨星落つ」の四文字を大書して教壇を降り、運動場の方の窓辺で外を見たまま時を過ごした。

やがて、終業のチャイムが鳴り、振り向いて教室を出ようとするとき、彼の目は濡れていた。

駐在武官の時代が長く、アメリカ力と日本の物質量その他の力関係のあまりにも大きいことを知っており、もともと戦争することを好まなかった。連合艦隊司令長官山本五十六が南太平洋で戦死したのは1943年4月18日。日本が大本営発表として国民に知らせたのが5月21日。「オタンチン」の無言の授業。涙の授業はその直後だったのだ。これを機に日本は敗戦への坂を降り出す。

「忘れぬ教師は偉大である」という。私は、あの異常な時代に何かを訴えようとした数々の教師に出会ったことをあらためて思い出している。

主役を探せ!!

**平井哲三郎さん(41回生) — まだまだ新しい曲を作り続けたい
旅館の跡取り息子が軍楽隊に入る**

平井さんは博多の街では一番古い「紅兎」^{べんとう}という旅館の三人きょうだいの長男、しかも一人息子でした。当時、のれんを絶やすことは許されない時代でした。つまり跡取りだったのです。それが旅館とは全く違う音楽の世界で活躍し続けてきました。

日本が戦争へと突き進む時代に小学生だった平井さん。出征兵士を送るために小学校でプラスチックバンドがつくられました。そのプラスチックバンドに入ることになったのです。そこでトランペットを吹くことになり、家に持って帰ると、父親が「駄目だ」と言いました。

「お前のおじいさんはクラリネットを吹いていた。お前もクラリネットを吹け」と言うのでクラリネットを吹くようになったのがクラリネット奏者となり、さらに作曲家、指揮者として活躍する大きなきっかけになったのです。

ある日、陸軍軍楽隊一行が「紅兎」に泊まることになりました。平井少年は「これは腕の見せどころ」だと生懸命聞こえるように家で練習しました。すると軍楽隊の隊長さんが父に「お前の息子はうまいじゃないか。将来は軍楽隊に入れなさい」と言ってくれたのです。

「これはすごいと聞いた」と親父は大喜びでした。どうしてかというところ軍楽隊は鉄砲の弾

のこないところにいるから。何しろ将来、軍楽隊に入れるように腕を磨いていた方がいいと練習にも身が入り、中学を卒業すると東京音楽学校(現・芸大)に入学。

それが運命の分かれ目で、5年生の2月に亡くなった母が私の後押しをあの世からしてくれたようにいつも思っていた。東京の音楽学校に入った時は戦争のひどいときでしたが、東京のど真ん中にも関わらず、全く空襲の被害などはありませんでした。最後は不思議な縁で軍楽隊に入隊できるようになり幸運でした。そういう運命の巡り合わせだったのでしようか。

平井さんの音楽学校の上級生には後に作曲家として大活躍する團伊玖磨や芥川也寸志という有名人が多くいました。そんな上級生10数人がすでに軍楽隊に入っていました。

「まだおれたちがいるうちに入ってくる。われらは散々ひっぱたかれ指導されたけれど、お前が入ったらおれたちが守ってそんなことはさせない」と言うので、在校中に志願したとはいっても軍隊だから試験や検査があり、目が悪かったので眼鏡をかけていました。本来なら目の悪い者は入隊できません。志願兵は全部「緒ですから検査を受けないわけにはいきません。それで、軍楽隊の教官が付いてきてくれて、今で言う「カンニング」をおおびら

にしてくれました。

お陰で合格。入隊したのは昭和19年の秋でした。しかし、練習してごも出ないうちに翌年8月に戦争が終わってしまいました。

クラリネット奏者として ラジオからテレビの劇伴を

戦後は学校に戻り、また勉強を始めました。音楽学校でクラリネットを学んでいましたが、クラリネットはどちらかというとマイナーな楽器。これからクラリネットの演奏だけでは心もとないと考えた平井さん、作曲を学ぶために受験して研究科に入りました。今の大学院です。そこで作曲を2年間みっちり習いました。

卒業してみると、平和になった日本では音楽演奏の需要が増えていました。しかし、当時は音楽を演奏できるのがほんの一握りの人しかいなかったと言います。演奏家が戦争に行つてまだ帰ってこないとか戦死した人などもあったのでしょ。

「仕事は潤沢で有難い時代を過ごさせていただけました。エリナ・ベルナという世界的に知られるソプラノ歌手がリサイタルをしたときに、その曲にクラリネット演奏という部分があり、1人で吹きました。東京フィルに籍を置いていましたからマンフレッド・グルリットという作曲家が来日して彼のピアノで私がクラリネット演奏をするなど、いい経験もさせてもらいました。クラリネット演奏者が少なかったこともあったのでしょ」

NHKのラジオドラマの「劇伴」の仕事も多くなって来ました。「劇伴」とは劇の伴奏、

つまり劇中の音楽です。NHKラジオドラマ「向こう三軒両隣」などの演奏もしていたそうです。もちろんクラリネット奏者としてです。

民間放送も出てきて文化放送で「おやかましとおいそがし」というドラマがあり、その音楽の仕事をしたいて、毎朝の番組を1週間に6日間やっていました。ラジオからテレビに移ると、テレビドラマ「肝っ玉母さん」があり、「女とみそ汁」などの劇伴もするようになりました。当時人気の番組でした。

「プロデューサーの石井ふくこさんに頼まれて演奏することになり、どういわけか私が曲をつけるとそのドラマはヒットし、何年も続くんですよ」と笑顔を見せる平井さん。このような庶民的な曲も演奏すればNHKの芸術祭参加作品のような番組でも演奏しました。

戦後、旅館「紅兎」は廃業しましたから跡を継がなくなってよくなったそうで平井さんは今までにも増して音楽家としての道に進進しました。

宮内庁式部職楽部 常任指揮者としても活動

クラリネットの演奏家として活動している平井さんに東京フィルハーモニーで指揮をするチャンスがやってきました。そこで指揮をしたのが指揮者としてのデビューとなりました。その後、プロ吹奏楽団である「東京交成ウィンドオーケストラ」の常任指揮者として迎えられました。「東京交成ウィンドオーケストラ」は現在も「題名のない音楽会」などテレビ出

演ずることがありますから、ご存知の方も多いのではないかと思います。演奏者から指揮者として進んでいったのです。

その後「日本フィルハーモニー」で「親子コンサート」をすることになりました。当時小学生以下の子どもはクラシックの演奏会には入ることができませんでした。でも子どもの方が大人より感受性が強いので子どもを対象にした音楽会をやるということになりました。親もついてきたら親も一緒に聴いてもらうということになって「親子コンサート」としました。

平井さんは子どもが大好きだったので引き受けましたが、日本国中を回り、1年に60回ぐらい演奏をしたそうです。「親子コンサート」は12年に及びました。

「思い出はたくさんありますね。小さな子にたとえば運命の『タダダダーン』とやると『知ってる、知ってる』って子どもたちは口々に言います。「楽章を終えると子どもたちはシーンとして聞き入っている。寝てるのかなと思ったら演奏が終わるとパチパチパチと大きな拍手がきました。クラシックなんて子どもは分からないだろうと思うのは親たち大人でしょう。12年間日本国内を演奏旅行をしましたが、楽しかったですね」

平井さんの最後の指揮者としての仕事は宮内庁式部職楽部の常任指揮者です。平成16年から5年間常任指揮者をしました。楽部の演奏者は約30人。宮内庁の音楽というと雅楽などもありますが、それだけでなく、洋楽も演奏します。同じ演奏者が笙やしちりきなど楽器に持ちかえてさまざま演奏することもありました。楽部の活動はほぼ毎週木曜日に

大事なお客様が皇室を訪れるそうで、そのお客様に昼食を差し上げているときなどに演奏するのです。

演奏する曲はその時のメニューやいつやるお客さまによって変えたそうです。終わると、皇后さまのお使いの方から「とてもよかったです」と言われたり、皇后さまが退出するとき我々の前をお通りになられ、「〇〇の曲がよかったです」と褒めてくださるんです。それが嬉しくて一生懸命演奏しました。ある時など皇后さまがメモをくださってそれには「ベルリンフィルのようにいい音出してましたよ」と書いてあったこともありました。とても生き甲斐を感じる日々でした。

80歳を超えたこともあって、4年前に常任指揮者としての仕事を辞めました。ほかの人たちは60歳定年なのに80歳を過ぎてもやらせていただき感謝しています。皇后陛下のピアノで度々コンチエルトをしましょうと言っていたのですが、実現しないで終わったのが残念です。

**作曲は500曲以上
まだまだ作りたい**

作曲者としての平井さんも紹介いたしましよつ。

これまでに500曲から600曲ぐらい作曲したと言いますが、平井さん自身数えきれなくらいだそうです。文化放送の番組でサトウハチロー先生の詩が毎日朗読されました。ディレクターからそのあとに何かやれないか？と言われて、詩集の中から気に入った詩に曲をつけ1週間の終わりに演奏したこと

が歌の作曲をするようになったきっかけです。

その後、クラシックの作曲も始めています。平井さんの代表曲である交響組曲「九州」などもこうして作曲されました。「九州」、狂詩曲「山笠」は九州の民謡を中に取り入れながら作った曲です。「九州はふるさとですから、そういうものが多くなりますし、この曲は私の代表曲といってもいいです。どこに出しても恥ずかしくないと自負しています。狂詩曲「山笠」は山笠祭りという独特の手拍子があるひとつのシャンシャンという独特の手拍子があるんですが、それを曲のメインテーマにして作っています。山笠が走っている描写をイメージして作りました」

クラシックのほかにも学校の校歌は20校以上作曲しました。平井さんは現在神奈川県鎌倉市に住んでいますが、同じ神奈川県横浜市が半数以上、また全国各地の学校から依頼が来れば作っていました。

85歳でもこうして活躍できる健康の秘訣は何ですかとお聞きすると「25年前から毎日欠かさず食べているミキプルーンかな」と言います。身体は悪いところはほとんどなく、血圧も正常、内臓疾患の検査でもいつも合格点だそうです。「年齢のことは全く気にしたことはないし、病気の心配は今のところありません。まだまだ作曲はしてゆきたいと思えます」

幾つになっても「生涯現役」を歩み続ける平井さんです。

平井哲三郎 (85 歳)

プロフィール / 作曲家・指揮者

1927年福岡市生まれ

1943年福岡商業学校（現福岡翔高校）卒業

東京音楽学校（現・芸大）本科学器楽部

（クラリネット）卒業。日本フィルハーモニー交響楽団の「親子コンサート」を12年続け、クラシックを子どもたちに身近な存在にした。

宮内庁式部職楽部指揮者としても活躍。作曲数500曲以上。

代表作は交響組曲「九州」、狂詩曲「山笠」、序曲「大いなる福岡」など。



110周年記念事業にかかる募金状況とお願い

本年の9月末まで募金期限を延長させていただきましたが、7月30日現在募金金額の総額は20,942,500円になっております。6月28日、7月18日と2回に分けて理事会を開催し、9月末までの募金目標2,500万円に対して、各回生から募金の積み上げに注力いただけることを多くの理事から確認いたしました。

福商会員の皆様には再度ご支援のほどを切にお願い申し上げます。なお、110周年記念誌の発刊につきましては、9月中旬から逐次発送できる手筈になっております。

福翔高校内に設置をいたします。歴史資料室も故出光佐三氏(2回生)の書作などもいただき、展示に向けての作業が急ピッチに進んでおります。完成後の暁には皆様ぜひとも足をお運びいただきますようお願いいたします。

一般社団法人 福商会理事長 山口 毅

募金納入者

百十周年記念事業
(平成23年11月から24年7月までご入金の方)

出光佐三
重 尊 間 人

30回生 大山安太郎
31回生 山本 武
32回生 後藤長兵衛
33回生 安河内重連
34回生 横田 尚正
35回生 柴田 岩夫
36回生 鳥山 昇
37回生 藤野廣次郎
38回生 江島 俊助
39回生 印代 成美
40回生 田代 俊美
41回生 川本 義男
42回生 矢野与四郎
43回生 柴田 實夫
44回生 石橋 啓
45回生 王丸宗三郎
46回生 持山 嘉六
47回生 岡崎 忠雄
48回生 大藤 恒雄
49回生 原 大三
50回生 中島 繁之
51回生 池見 梶雄
52回生 竹山 雅巳
53回生 菰田 元一
54回生 舟越 光好
55回生 今林 康夫
56回生 眞鍋 正夫
57回生 宮崎 武士
58回生 田中 範隆
59回生 石橋 武彦
60回生 渡邊與三郎
61回生 山本 俊生
62回生 白石 敏雄
63回生 今林 康夫
64回生 藤上 次郎
65回生 山崎 大三

40回生 田中 寛
41回生 石邊 博
42回生 大戸 教弘
43回生 樋口 正
44回生 堀 正憲
45回生 廣澤 茂男
46回生 有吉 幸男
47回生 常岡 浩
48回生 千葉 敏朗
49回生 花田 静夫
50回生 林 敏治
51回生 森 忠重
52回生 野中正十四
53回生 吉田 稔
54回生 山本 福雄
55回生 篠原健次郎
56回生 上新 慶治
57回生 深川 甚一
58回生 花村 清二
59回生 高松 忠
60回生 正木 宏
61回生 石村 善治
62回生 石藏 宏見
63回生 小倉 信雄
64回生 山崎 義信
65回生 宗 健次
66回生 石橋 治男
67回生 香月 弥一
68回生 鷲見 緑郎
69回生 権丈 忠
70回生 浅川 吉彦
71回生 木下 清
72回生 大社 茂雄
73回生 持山 惠亮
74回生 倉富 昭正
75回生 船越 紀生
76回生 小島鹿次郎
77回生 眞鍋 明彦
78回生 白水 照敏
79回生 澄井 弘
80回生 高宮 春夫
81回生 伊賀 良雄

43回生 柴田 照明
44回生 藤島規久士
45回生 川島 健朔
46回生 正木 利造
47回生 森住 勝
48回生 平野 信男
49回生 山崎 孝一
50回生 西崎 利男
51回生 渡邊健二郎
52回生 今村 和雄
53回生 齋藤 三郎
54回生 眞鍋 和夫
55回生 宮原 守彦
56回生 占部 利彦
57回生 山本 峻三
58回生 大藪善三郎
59回生 本園 豊
60回生 金堂 辰昭
61回生 吉浦 親吾
62回生 吉村 龍典
63回生 平野 良平
64回生 中牟田正生
65回生 三舛栄次郎
66回生 藤 文次
67回生 末松 泰典
68回生 金澤 恒雄
69回生 鶴田 孝志
70回生 大庭 繁
71回生 野田 照明
72回生 小石原英照
73回生 古屋 恒男
74回生 中西云衛門
75回生 原田 尚一
76回生 櫻木 文和
77回生 福田 吉雄
78回生 都地 義彰
79回生 角 輝和
80回生 蔵本 勲親
81回生 西嶋三七男
82回生 渡邊 伸幸
83回生 松本宗次郎
84回生 田中 正博

46回生 前田 常喜
47回生 安川 榮一
48回生 後藤 豊彦
49回生 笠 忠夫
50回生 柳池 熊雄
51回生 堀川 和夫
52回生 水越 環
53回生 柴田 圭三
54回生 徳安敬之助
55回生 野田 仁久
56回生 堀 義助
57回生 安河内 馨
58回生 龜岡元一郎
59回生 藤野 晋一
60回生 山崎 俊幸
61回生 魚住 誠剛
62回生 白井 正和
63回生 穴井 利男
64回生 村上 正男
65回生 津上 明一
66回生 雨森 豊
67回生 波多江順治
68回生 松島 重吉
69回生 須原 春雄
70回生 西嶋 功
71回生 松田 賢子
72回生 三浦 藤子
73回生 江藤 信子
74回生 大平美智子
75回生 進藤百合子
76回生 石松 久子
77回生 中野恵美子
78回生 富永 哲二
79回生 半田キヨ子
80回生 原田サツ子
81回生 富永七左衛門
82回生 井上 定子
83回生 堀内 信子
84回生 石橋 叶子
85回生 西田美代子
86回生 楠原 成見

50回生 長井 昭子
51回生 稲永 正篤
52回生 本村 義
53回生 春山 昌男
54回生 出崎 綾子
55回生 栗原 綾子
56回生 松本 勇夫
57回生 阿刀 寛明
58回生 山口 節
59回生 柴田 節男
60回生 佐々木明子
61回生 原田 茂人
62回生 中村 順二
63回生 三浦 謙作
64回生 山地 政美
65回生 空閑 謙二
66回生 江崎 利雄
67回生 新原 茂美
68回生 香月 清
69回生 藤井 信義
70回生 波瀨 要一
71回生 小柳 雅暉
72回生 花田 義和
73回生 鳥飼 進
74回生 小西 醇一
75回生 須原 尚寅
76回生 三島 敏之
77回生 嶋田 春雄
78回生 田中 正剛
79回生 石橋 幸二
80回生 佐野 博
81回生 橋本 国彦
82回生 三宅 栄
83回生 宮崎 照雄
84回生 森下 喜太
85回生 山野 義勝
86回生 吉野 勝美
87回生 吉岡 勝二
88回生 吉井 次雄
89回生 石田 虎彦
90回生 高木 正士
91回生 吉田 恒由
92回生 幸若 久義
93回生 森 栄一
94回生 内田 正俊
95回生 内野 晴行

51回生 藤野 正春
52回生 西田 邦男
53回生 渡邊 孝至
54回生 中田 秀夫
55回生 鈴木 秀夫
56回生 矢部国太郎
57回生 山下ケイコ
58回生 船津 隆夫
59回生 西田 公英
60回生 木村 公義
61回生 梅津 季雄
62回生 堀 満子
63回生 赤司 治
64回生 山内 敏雄
65回生 和田 昌直
66回生 森山 哲
67回生 平田 英雄
68回生 磯山 嘉郎
69回生 入江 繁
70回生 久保山 繁
71回生 日高淳一郎
72回生 岡部 守友
73回生 富永 照久
74回生 伊藤 知久
75回生 白垣 精一
76回生 富永 宗春
77回生 諸永 道昭
78回生 高谷 清三郎
79回生 大隈清三郎
80回生 平野 富義
81回生 秋山 肇
82回生 柴戸 昌行
83回生 小杉 和弘
84回生 福原 淳二
85回生 渡邊渡美男
86回生 江藤 敬弘
87回生 藤野 利明
88回生 中園 英男
89回生 牛田 利明
90回生 白水 倉光
91回生 豊福眞木子
92回生 田中 大祿
93回生 八尋 久
94回生 綾部 正幸
95回生 向田 勝裕
96回生 眞武 裕

田所嘉代子 柴田眞理子 今村悦乃 井上三枝子 有川卯佐代 山下光吉 吉住正樹 山根英樹 柳池啓伯 水上敏男 那須寿幸 高木直幹 川添隆司 川井静樹 山本章子 本田香代子 船越弘子 吉原隆雄 森山征樹 松浦豊喜 藤井宏一 蛭間祥之 藤勝己 佐々木均 加来将昭 冲村光彦 井上光彦 荒木浩輔 武田重子 梅田昭子 吉田和男 山見坂晴 松尾泰宏 橋本巖 中川洋介 高瀬与志郎 平慶典 白木英治 柴田利広 上杉百正 井本健造 井上興治 矢次朝子 南公子 正木幸子 橋本牙子 中島和子

森武紀 安松昭一 宮田政夫 三島毅 郡司民子 山口照美 齋田郁夫 国崎孝学 山口和子 羽瀬工三子 野口信子 八尋茂忍 井上孝史 仲山博文 宮川隆 広渡節雄 秋山健二 池田健一 藤昌廣 高橋哲一 古浦義臣 満生博文 曾木東城 藤和幸 吉田由紀子 山口節子 森敏子 末松秀子 堺八重子 岩瀬淳子 安部喜美子 山口利勝 真鍋仁輔 戸次脩 平野善之 久野卓治 西村愛蔵 谷口純洋 清水勝人 堺恭之 石崎和敏 麻生武三 秋吉年春 山岸美恵子 松本夕三子 古川伸子 傳美代子

福島克郎 富田一幸 小池節子 池浦竹彦 細田節子 江藤信允 山崎茂之 弓孝夫 高木不二朗 石川浩二郎 伴武司 江口幹彦 福井圭佐 太田久仁彦 森清子 中峰志津代 小川穰 栗山茂 角倉伊津子 山口雄三 寺崎陽子 吉田茂文 磯田一徳 藤和幸 小手川伊津子 平松孝介 岡崎国伸 中村忠子 榎藤国栄 野地昭男 江崎征二 河野加代子 森勝美 戸上洋子 嶺雅子 平地秀二 末安鴻一郎 西内明 宮崎伸博 青柳輝雄 山下速子 藤井紘一 樋口嘉子 柿原和人 柴田寛嗣 白石信男 境輝幸 古泉仲夫

角积哲夫 長島闌子 辻照代 酒井昭子 近藤昭代 小西哲子 岡田信子 牛島幸子 仁部洋子 井上七口子 池川澤子 生津信子 矢野正司 森茂 益田摂理 福島克郎 榎崎博子 榎崎勝吾 中野清志 栗秋和子 西島喜代子 安部美智子 柴田志乃 栗秋詔和 伊藤紘司 高尾忠晴 井上博美 天野一秀 桑原良子 野上嘉良 財津信義 梶原繁利 戸上洋子 嶺雅子 平地秀二 末安鴻一郎 西内明 宮崎伸博 青柳輝雄 山下速子 藤井紘一 樋口嘉子 柿原和人 柴田寛嗣 白石信男 森本和子

吉田扶久子 本山忍 大武節子 河辺吉幸 今林弘子 土屋智彦 長野恵美子 吉澤ヤ入子 金ヶ江洋子 神宮一朗 山口和子 佐土原敏子 山口利彦 大西正則 61回生一同 熊野混子 尾崎武利 湯下稔明 藤野莞嗣 小手川伊津子 坂田勉 手島洋子 曾根武夫 松本こよの 真子紀男 橋口哲郎 板谷茂子 篠原裕治 中村千晶 立山初代 田中豊晴 太田皓 細山瑞枝 村上喜美 倉真和也 原口博人 前田昭男 廣田良隆 藤文子 諸富久美子 柳地賢丸 近藤雄三 上田英喜 宮田勝則

徳重省二 関陽之祐 森初野 榎崎美恵子 古賀信忠 高尾征二 草場昭生 藤田博之 増井淳子 森光博之 高木茂之 松村新吾 横峯康子 金子由美子 藤田正勝 大神忍 佐藤廣美 丸山勝 阿部和美 田崎節子 福沢政晴 村上裕子 佐伯和宏 手笠正巳 馬場力ツ子 中島美智子 山下充子 泉時子 大浜武松 坂本昭子 佐伯和子 村田喜代子 誉田秀代 三好健二 鬼木勇夫 八尋智明 小田部克子 小田部茂俊 小田部亮 原口博人 前田昭男 廣田良隆 藤文子 諸富久美子 柳地賢丸 近藤雄三 上田英喜 宮田勝則

栗柄健一 吉田一彦 井上康市 甲斐隆 根上和俊 中村和俊 尾上美恵子 畑山正寿 河津憲子 森山良作 安河内維仁 森岡優 前川博行 安河内敬一 内野恵美子 池添昇 平田哲子 平田稔樹 大崎順子 上木節子 上木政章 稲益政晴 村上裕子 友山芳子 山本元紀 久保東彦 吉井薫 吉原のぶ子 田村登美子 吉瀬美恵子 阿部五月 篠崎照 井上桂子 野村利幸 和氣由利代 麻生孝夫 伊藤國雄 永田利明 野北克之 鶴田秀子 高丘基東 石井みどり 安河内ミドリ 緒方友枝 白水新一 小西幸治 広瀬由紀子

杉村エミ子 山下久和 西村広志 山田芳江 松田美千子 富永滋夫 山内房子 合原明子 天本正昭 松永英助 池辺とし子 平松秀敏 津田仁 木林顕博 井手憲子 奥田賀代子 香川壽 穴見健策 徳重久雄 岡尾末子 大橋信午 宇土健治 山下博司 石井志津子 青木進 波多江隆幸 川原のぶ子 中野貴久子 吉井薫 久保東彦 友山芳子 山本元紀 久保東彦 吉井薫 吉原のぶ子 田村登美子 吉瀬美恵子 阿部五月 篠崎照 井上桂子 野村利幸 和氣由利代 麻生孝夫 伊藤國雄 永田利明 野北克之 鶴田秀子 高丘基東 石井みどり 安河内ミドリ 緒方友枝 白水新一 小西幸治 広瀬由紀子

的野信行 千原雅義 古谷久美子 水口美枝子 矢野久代 大山光子 森岡博孝 村山清道 神武治城 小川正義 阿部る子 香月節子 高城克己 小山由克 大久保行雄 松野みづえ 清田昭 古賀清美 東陽子 津金沢淑味 平山泰子 大野民子 池美夫 松下美夫 藤原さよ子 進末雄 田平礼子 岩崎恵津子 中野貴久子 吉井薫 久保東彦 友山芳子 山本元紀 久保東彦 吉井薫 吉原のぶ子 田村登美子 吉瀬美恵子 阿部五月 篠崎照 井上桂子 野村利幸 和氣由利代 麻生孝夫 伊藤國雄 永田利明 野北克之 鶴田秀子 高丘基東 石井みどり 安河内ミドリ 緒方友枝 白水新一 小西幸治 広瀬由紀子

募金納入者

69回生
長崎 早苗
福井由美子
原田新五郎
柴田重徳
安武修二
上田博
藤岡信子
牟田學
松下鈴子
木下恵子
井上廣子
森中周子
藤本浩吉
68回生
山本茂樹
坂本純一
浦田三枝子
今崎邦香
添田敏夫
堺博正
志波芳則
徳安隆
今泉洋一
猪野忠孝
山下哲雄
波多江みち子
中村康子
佐々木美恵子
今林照公
今村慶子
金澤公夫
磯本保
吉田能里夫
浜島英利子
嶋田茂
西裕子
稻永昇
吉武より子
吉武節子
塩川加代子
酒井美鈴
畑島文博
67回生
折居 供徳
補永 静子
泉 講次
奥田 文代
吉村 春代
岡崎 芳枝
70回生
角 桂子
伊東 輝世
松本 広子
安部 雪江
西原美喜枝
小野 勇夫
三角 豊和
柳橋 芳子
渡口 史郎
野上 誠
松本千代子
園田 和枝
藤野 正巳

75回生
堀江 徹
小城 優子
築後合幸則
74回生
萩尾美恵子
野口嘉孝
73回生
高木 隆治
八尋 俊幸
木庭しげ美
桑原 平磨
神宮玄二郎
72回生
中洲 弘子
安永 節子
永翁 利成
林田三津子
吉村 昌子
71回生
安武 孝子
南原 茂
白岩富嗣子
村上馨三子
坂井 幸治
福原 政弘
70回生
岡崎 芳枝
矢野未子伸
後藤 正徳
田代 典子
山本やよい
溝口 忍
岡崎みさ子
久田 史規
船越 一人
高江 毅
林 深雪
滝川みち子
酒井香代子
武谷 裕子
永井あけみ
白石 秀子
岩田千香子
安永 陽子
伊藤 靖子
阿部 君代
浅見 智子
松尾 弘子
村上 京子
田上 恵子
草原 深雪
小野 達子
老松 達子
寺本 恵子
春野寿美子
花田 君子
坂井 千春
田代 恵子
安河内由美子
松下 由美子
柳 美栄
縫田眞智子
三好 純子
大石 文子
日丸こずえ
道善 早苗
中園 良重
川村 敬子
古賀 政子
大和 薫
永尾 素子
上野三千男
青木 洋介

77回生
鳥飼 俊宏
山名 博史
米倉 厚子
森 充子
長舟 光之
平 京子
76回生
益田敬子
白木 新吾
城戸利恵子
小林 純子
清水 修
林 心み子
井手 忠信
松原 哲子
木村美穂子
古賀みゆき
西岡千鶴子
松田香代子
田崎八洲子
上野 敦子
渡辺 敦子
森田 吉昭
青木 政弘
佐伯 雅行
梶原 雅夫
齋藤 智子
徳田美由紀
山本 明子
西島 明美
中原 裕子
佐藤 俊哉
小橋 桂一
日下 久美
明永 恭子
遠山 英子
中村 慶子
桐谷かほる
山崎 玲子
宮脇三和子
藤原 千広
西嶋 伸次
村上 雅洋
若松美恵子
川上 睦美
白水 清道
鳥飼 悠子
平野貴美代
大塚 恵子
大野真寿美
貞弘多嘉子
伊藤 容子
古屋ひづる
平川知恵子
阿部幸代子
尾形 志子
小林 幸一
山崎 孝幸
石山久美子
栗原早百合
國府田ひろ子
重松 玲子
山田 由理
吉田眞由美
今林千恵子
井上 尚子
星子須美江
古賀 洋子
許斐 弓美
入江 令子
倉地 秋子
木村 信子
永野由加里
中本 真澄
日野 孝治
木村千代子
中村 徳子
安部 幹子
松本 秀明
松本 寛
狩野 昌子
野村木乃実
佐野木洋子
松尾 和彦
池田 理恵
今橋さと美
秋吉 紀生
平田 美志
森 峯子
市村さつき

79回生
松尾 和彦
80回生
上野多恵子
濱川 直子
山崎さとみ
江口 直秀
横尾 須美
渡辺美由紀
一木 栄子
81回生
川越 多江
原田 広海
中野久美子
82回生
平山康一郎
飯田 栄子
古川 清美
山元ゆかり
大賀 浩二
半田 節子
83回生
富永 強
児玉 暁代
岡部ニクキ
林 博文
井上 寿一
84回生
野田範海意
田尻トモ工
85回生
上野多恵子
濱川 直子
山崎さとみ
江口 直秀
横尾 須美
渡辺美由紀
一木 栄子
86回生
羽野 顕子
87回生
井上 清織
松尾千香子
榊 佳穂子
88回生
山田 裕介
岡崎 孝徳
梅崎 直子
中山 浩二
正木 詠子
89回生
平山康一郎
90回生
羽野 幸子
菊池 忍
石井 雅太
91回生
森田 俊夫
安岡真紀子
92回生
山本 恭子
津田佐代子
村山 和博
山本 由美
85回生
山本 由美
86回生
羽野 顕子
87回生
井上 清織
松尾千香子
榊 佳穂子
88回生
山田 裕介
岡崎 孝徳
梅崎 直子
中山 浩二
正木 詠子
89回生
平山康一郎
90回生
羽野 幸子
菊池 忍
石井 雅太
91回生
森田 俊夫
安岡真紀子

百十周年募金・回生別一覧表

回生	金額	回生	金額	回生	金額	回生	金額
27	50	704,000	73	100,000	95		
28	51	491,000	74	35,000	96		
29	52	3,692,000	75	505,000	97		
30	40,000	53	488,000	76	10,000	98	5,000
31	20,000	54	322,000	77	42,000	99	
32	20,000	55	821,000	78	40,000	100	5,000
33	10,000	56	530,000	79	35,000	101	5,000
34	20,000	57	598,000	80	50,000	102	
35	90,000	58	1,000,000	81	30,000	103	
36	20,000	59	305,000	82	40,000	104	
37	30,000	60	1,720,000	83	30,000	105	30,000
38	70,000	61	600,000	84	45,000	106	15,000
39	3,260,000	62	480,000	85	60,000	107	
40	200,000	63	195,000	86	70,000	108	5,000
41	285,000	64	600,000	87	25,000	109	20,000
42	170,000	65	150,000	88	5,000	別科	57,000
43	110,000	66	305,000	89	20,000	定時制	27,000
44	203,000	67	270,000	90	5,000		
45	140,000	68	120,000	91	10,000	出光興産	500,000
46	240,000	69	80,000	92		福翔	60,000
47	92,500	70	140,000	93		不明	10,000
48	150,000	71	60,000	94	5,000		
49	150,000	72	50,000	総合計			20,942,500

平成24年7月31日現在

80回生
上野多恵子
濱川 直子
山崎さとみ
江口 直秀
横尾 須美
渡辺美由紀
一木 栄子
81回生
川越 多江
原田 広海
中野久美子
82回生
平山康一郎
飯田 栄子
古川 清美
山元ゆかり
大賀 浩二
半田 節子
83回生
富永 強
児玉 暁代
岡部ニクキ
林 博文
井上 寿一
84回生
野田範海意
田尻トモ工
85回生
上野多恵子
濱川 直子
山崎さとみ
江口 直秀
横尾 須美
渡辺美由紀
一木 栄子
86回生
羽野 顕子
87回生
井上 清織
松尾千香子
榊 佳穂子
88回生
山田 裕介
岡崎 孝徳
梅崎 直子
中山 浩二
正木 詠子
89回生
平山康一郎
90回生
羽野 幸子
菊池 忍
石井 雅太
91回生
森田 俊夫
安岡真紀子

91回生
森田 俊夫
安岡真紀子
90回生
石井 雅太
99回生
尾方 惠奈
廣兼 宣幸
藤村 優
103回生
大崎 成彦
108回生
前田 直紀
久原 佑介
106回生
林 麻希
野原亜裕未
長坂聡士郎
池田 優佳
豊田 晶
打越 隆誠
105回生
清田 創
101回生
山口 浩平
100回生
篠原 祥泰
98回生
馬場 由紀
94回生
藤野 光枝
緒方アツ子
八丸恵巳子
吉田 益美
定時
大神 博
小林由希雄
中上美栄子

92回生
山本 恭子
津田佐代子
村山 和博
山本 由美
85回生
山本 由美
86回生
羽野 顕子
87回生
井上 清織
松尾千香子
榊 佳穂子
88回生
山田 裕介
岡崎 孝徳
梅崎 直子
中山 浩二
正木 詠子
89回生
平山康一郎
90回生
羽野 幸子
菊池 忍
石井 雅太
91回生
森田 俊夫
安岡真紀子

94回生
藤野 光枝
緒方アツ子
八丸恵巳子
吉田 益美
定時
大神 博
小林由希雄
中上美栄子

博多にわかルール



西門蒲鋒店代表
上田 啓蔵さん
(64回生)

1 才神よ(神代)信じますか

日本の芸能の始まり始まり

大昔、天照大神が弟の素戔嗚尊すそなみのみことの乱暴に怒って、天岩戸の中にお隠れになり、世の中が真っ暗になった時、心配して岩戸の前に集まった神々を前に、天鈿女命あめのうづめ(あめのうづめのみこと)が、今で言えば「もも、乳あらわに」ストリップショー的な愉快な踊りをしたので、神々は手拍子打って大笑い。

「何事ならん」と、岩戸を細めに開けて天照大神が覗かれた瞬間、手力男命たぢから(たちからのおみこと)が岩戸をぐくと開いて、めでたく世の中が明るくなった。という「古事記」の神話。ここから野外での神楽、庭神楽(にわかぐら)が始まった。その略が「にわか」という説。これは宝暦6年(1756年)に出版されたにわかにわかの文献で、最古とされる「清神秘録」で紹介された「庭神楽の略の『にわか』だから、俄にわか(にわか)の字をあてるのは間違」と自信たっぷり示してある。

2 明確ではない起源

学術的にも博多にわかにわかの起源というものが、今ひとつはっきりしない。ただ、昔の「俄狂言」が原点であらうといふのは、博多仁和

加振興会の見解である。

「俄狂言」の元をたどると「能狂言」にたどり着く。両方に共通した「狂言」は中国から渡来した漢語で、わが国では早くも「万葉集」に「たわごと」という言葉が出ています。その当時から「常識や道理から外れた言葉や冗談」の意味に使われていたようだ。

慶安4年(1651年)に大蔵虎明という人が出版した「童子草わらべぐさ」に「天鈿女命が天の岩戸の前で踊ったのが狂言の始まり」と書いてあり、清神秘録より百年以上も古い。

3 これが原点かな

これらの文献を参考にまとめてみると、奈良時代(700年代)に中国から入ってきた「散楽」が宮廷や貴族の園遊会で余興に演じられてるうちに「散更さんまが」から「申楽まが(さるがく)」となり、やがて民間に下って猿楽さるがくとなったらしい。

平安時代(1100年代)中期に藤原明衡が書いた「新猿楽記」には「腸を断ち、アゴを解かざる者無し」とあるところを見ると、いかに当時の人々に笑いをもたらしたユーモラスな内容であったかが分かるが、歌、劇、踊りが一体となったところも含めて、博多仁和加の段物(劇)とそっくり。「これが原点(原典)たい」と言いたくなる。

4 世界最高の芸術の親戚

この頃から、猿楽は次第に真面目なものをやるようになり、室町時代(1300年代)に至って、かの観阿弥、世阿弥父子が猿楽を

はじめ、各地方にあった田楽などの諸芸能を総合した能狂言の世界を確立したのである。

美女の面が上を向けば喜び、下を向けば悲しみの表情となる。ほか、楽器も装束も謡も、極度に単純化された中に、これほど深みを感じさせる芸術は世界にない。

5 素人即興喜劇

これとは別に「俄は最初から、素人の即興的喜劇である」という説がある。

最初は風流などの仮想から始まって、面白い扮装をしたり、戯言(冗談)を言うようになり、やがて遊里でもてはやされるようになったというのである。

6 いろいろあります古典芸能

①猿楽 ②田楽 ③風流 ④延年の舞

7 江戸は茶番狂言と吉原俄

江戸時代(1600年以降)になると江戸、京都、大坂の三大都市に、それぞれ狂言が登場する。能狂言などから派生したという歌舞伎に関連したものなど続々。

江戸ではまず茶番狂言。江戸時代に盛んになった歌舞伎の下級役者の茶番(お茶当番)が、交代で客に景品を出す際、工夫を凝らして、有名な歌舞伎役者の物まねや、歌舞伎の物語を茶化していたのが、次第に人気を集め、宝暦年間(1751~64年)にはプロの世界からアマチュアへと移り、文化・文政(1804~30年)の頃に最盛となった。

種類もかつらや衣装を着けた寸劇の立茶番狂言、座ったままで喋って笑わせ最後に

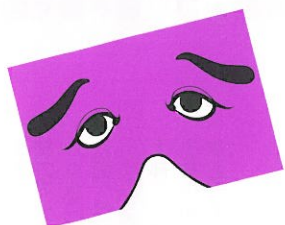
落ちを付ける、口上茶番などで、素人衆が小屋掛けしてまでやるようになり、一時は逆にプロ化した。明治時代まで及んだといふ。

もうひとつ、吉原俄。最初は、風流の仮装行列あたりから始まって、享保年間(1716~36年)には有名な吉原遊郭を中心に素人の目那衆たちの間に流行、吉原の九郎助稲荷の祭礼で、俄狂言として奉納上演され、天明年間(1764~89年)には、吉原俄の名で毎年秋に定期公演するほど盛んになった。

8 京都は改良俄と新聞俄

京都は、江戸時代以前の日本の首都。風流、能狂言、松囃子まつばしりなど歴史的芸能のスタート地点ともいえるから、当然、俄狂言もあつた。こちらは江戸より少し早かつたらしいが、やはり遊里として吉原より古い島原遊郭の御大尽たちの間から流行し、最初は、おいらん道中おいらんみちなど神事奉納の練物の中の仮装行列から始まった。

この、いわば、島原俄とも呼ばれるべき俄狂言も盛んになり、明治に入ると、大西座という小屋が改良俄、大虎座という酔っ払いが集まりそうな小屋が新聞俄と称し、新しい演目を発表して対抗した。





GENKI COMPANY

元氣印の企業紹介! vol.23 大栄青果(株)



社員や家族、
周りの人の幸せがあってこそ自分の幸せ。

代表取締役社長 富永 強 (83回生)

昭和59年、私は普通科の2期生として福岡商業高校の門をくぐりました。

もともと私立の男子高を志望していた私にとって、福商への入学は正直思い描いた進路とは違う結果でした。

しかしそんな福商で多くの友人との出会いがありました。個性派揃いの3年8組の皆との出会いです。高校を卒業し30年ほど経ちますが、今でも野球チームを結成し毎週のように顔を合わせています。

それは私にとって心身ともにリフレッシュ出来る貴重な時間です。福商はまさに生涯の友と出会わせてくれた場。今では母校に感謝と誇りを感じています。

高校卒業後は九州産業大学に進学し、同大学を卒業後、商売人でなくサラリーマンを経験したいとの思いから、大手スポーツ用品販売会社に就職。その後家業である大栄青果(株)に入りました。

弊社は福岡市中央卸売市場の開場に併い、福岡市公認の青果仲卸業として昭和43年に創業しました。現在県内外のスーパー、コンビニエンスストア、飲食店等への納品をはじめ、海外への輸出も行っています。

私は32歳の時に社長に就任しましたが、その後父が病に侵され、父と会社を懸命に支えてきた母も病気で亡くなり、そこに追い打ちをかけるように取引先の倒産。あの数年間は、神様から本当に多くの試練を与えられたと思います。しかし同時に、その試練を乗り越えたいと多くの方の支えを頂きました。だからこそ今の自分があるのだと思います。

「社員や家族、周りの人の幸せがあってこ

そ自分の幸せ。たとえ会社の業績が良くても社員やその家族が幸せでなければ何の意味もない」との強い思いは、その時の経験があるからかもしれません。

父の後を継ぎ13年。社員一人ひとりの成長と努力のお陰で、今では父の時代の売上高も上回り、新たな目標に向かって社員一丸となり頑張っています。

「同舟一千有余人」母校校歌のごとく、社員とともに同じ船に乗り同じ方角を向いて突き進めば、必ずやより良い会社になると私は信じています。

それが強いてはより良い地域へ、そして社会への第一歩となるはず。そのためにも、昨日よりも今日、今日よりも明日へと、もう一歩前進します。



大栄青果のみなさん

大栄青果 株式会社
TEL 092-0893
福岡市博多区那珂6丁目23の1の107
TEL 092(411)4342

線香・ローソク・お香・広告マッチ
株式会社 中島晴薫堂

代表取締役 会長 中島 勝 敏 (55回生)

〒812-0044
福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
〒854-0055
長崎営業所 諫早市小川町 700-49 TEL・FAX0957-21-0675



〒70にもいろいろ
あります...

福岡テープ株式会社

工業用テープ
包装テープ
網包機・網包資材
カッティングテープ
カット絵文字制作

取締役 糸永 清二 (55回生)
福岡市博多区那珂3丁目2-4
TEL 092-411-3929(代)

創業125周年
imai
PRINTING

代表取締役 今井 勝彦 (57回生)

今井印刷株式会社

〒812-0041 福岡市博多区吉塚7丁目3番70号
TEL 092-624-8292 FAX 092-624-8293

広告掲載を募集しています。広告掲載料は1万円です。お問い合わせは福商会事務局まで。

会館だより

● 母校生徒たちが来館



全国大会出場の生徒が来館

7月20日に母校生徒が全国大会出場の報告のため、顧問の先生と来館しました。7月22日から8月中旬にかけて開催される水泳部、文化部の情報処理競技、書道、簿記に出場する皆様です。「母校の名誉と上位入賞、入選をめざして精一杯頑張ります」と決意表明がありました。

- ◆全国高等学校情報処理競技大会 大前 琢磨(3年)、山本 一希(3年)
- ◆全国高等学校簿記コンクール 高村 咲実(3年)
- ◆全国高等学校総合文化祭(書道) 宿里 優希(3年)
- ◆全国高等学校総合体育大会(水泳競技)
松村 脩平(3年)、濱浦 実結(3年)、西村 梨沙(2年)
鬼崎真律加(3年)、鶴崎 莉乃(1年)、大塚 麻由(3年)

母校の国体出場生徒に褒賞金

8月18日から沖縄市で開催される、平成24年度 国民体育大会九州ブロック大会(少年男子/少年女子)に福岡県選抜選手として出場する、母校のバスケットボール部 小澤 智将さん、剣道部 永留 未来さんが、顧問の山田耕史先生と菊池忍先生と一緒に来館されました。

バスケットボールの福岡県チームは過去に何度も全国優勝を飾っている全国でも有数の強豪チームで、福翔高校から選抜されたのは、7年振りの快挙です。

今年の福翔高校バスケットボール部は小澤キャプテンのリーダーシップのもと、インターハイ、九州高校選手権とも福岡県3位の好成績を収めました。

剣道の永留さんは玉竜旗では福翔高校の大將で、本大会では次鋒での出場が決まっており、玉竜旗で優勝した中村学園女子や準優勝筑紫台の選手の間に入りこみ、大いに活躍が期待されています。

強豪ひしめく九州8県の総当たりの試合で上位3県が本大会(岐阜県)に出場を果たします。

両人とも、福岡県代表として、高い目標をもって全力でプレーをする力強く語ってくれました。



● 「奨学育英基金」へ寄付



私たち61回生は、福商会が行う奨学育英資金事業に賛同し、卒業50周年を迎えるにあたり母校に感謝の意を表すとともに母校のますますの発展を祈念し、同事業の拡充をはかるため「卒業50周年感謝の募金」の取組を行いました。各クラス役員協力ののもと、198名の同窓生から賛同を頂き金108万円を福商会に寄付することができました。

賛同をいただきました方々に対しクラス役員一同こころより御礼申し上げます。

なお、クラス役員会において寄付者の氏名は福商会報には公表しないことに決めましたのでご了承ください。

61回生クラス役員一同

7月23日から26日まで釜山(韓国)で開催される、アジアユース教育フォーラム2012に参加する福翔高校生徒3名と谷本副校長が福商会館に来館しました。

昨年に引き続き、福岡市代表(10名)として福翔高校から5名が「日本の未来の交通手段」と題して、自動車の安全な走行について、3名がパネリストとして英語でスピーチします。23日は山口理事長、宇土副理事長ほかの福商会役員前で約10分間プレゼンテーションをおこないました。山口理事長からプレゼンテーションの感想や釜山での発表の場で気を付けてほしい点など激励の言葉があり、福商会から褒賞金を支給しました。

